

《研究ノート》

ザクセン王国経済発展の基礎 (3)

松 尾 展 成
(岡山大学名誉教授)

第10節 産業別就業者統計・続

産業別就業者統計の検討を第1に、王国から始めよう。49年から07年までの王国就業者の産業別構成比が1910年に公表された。82-07年は実数を含み、49年、61年と75年の数値は、既に公表された数値を修正するものである。それが第12 (3) 表⁽¹⁾である。本表の〈 〉は産業別構成比、() は、構成比と就業者計から算出した実数、計は、商業、その他を含む就業者計、[] は対王国総人口比である。

原表の比率で見ると、農業就業者比率は、49年の37%から低下し続け、07年には12%となった。ただし、同比率は、82年に上昇(0.3%)したけれども、既に95年には75年よりも低くなった。工業就業者比率は49年の45%から上昇し続けた。そして、同比率は、61年に5割を突破し、07年には56%まで高まった。また、49年に対する07年の就業者計の比率(244%)は総人口の増加率(242%)を僅かに超えていた。農業就業者は減少し続けた。ただし、それは、82年に増加したけれども、07年には75年よりも少なくなった。07年の農業就業者は49年の8割以下となった。工業就業者は増加し続け、07年のそれは49年の3倍となった。その結果として、工業就業者は49年に農業の122%であったが、07年には4.7倍以上となった。対総人口比においては、49年に18%であった農業就業者は、82年の上昇(0.2%)以外は低下し続け、07年には6%以下となった。工業就業者の対総人口比は、49年に22%であったが、75年の低下(1.9%)を除いて、上昇し続け、07年には27%となった。

第12 (3) 表 王国の産業別就業者 (1849-1907年)

王国	農業	工業	計	農業	工業	計	総人口
王国-49	〈37.1%〉	〈45.3%〉	〈100%〉	(334,456) [17.65%]	(408,379) [21.56%]	901,499 [47.59%]	1,894,431 [100%]
王国-61	〈30.4%〉	〈52.4%〉	〈100%〉	(329,297) [14.80%]	(567,605) [25.51%]	1,083,215 [48.68%]	2,225,240 [100%]
王国-75	〈21.7%〉	〈53.7%〉	〈100%〉	(263,228) [9.54%]	(651,399) [23.60%]	1,213,033 [43.94%]	2,760,585 [100%]
王国-82	〈22.0%〉	〈54.3%〉	〈100%〉	292,888 [9.71%]	724,513 [24.03%]	1,334,478 [44.26%]	3,014,822 [100%]
王国-95	〈16.7%〉	〈55.0%〉	〈100%〉	290,971 [7.75%]	957,509 [25.51%]	1,742,063 [46.41%]	3,753,262 [100%]
王国-07	〈11.9%〉	〈56.3%〉	〈100%〉	261,902 [5.71%]	1,238,991 [27.02%]	2,199,554 [47.97%]	4,585,500 [100%]

第2に、4県の就業者数については、第12 (3) 表における王国合計のような、同一基準の数値が公表されていない。63年に公表された、49年と61年の数値は同一基準であり、82年以後の数値は同一基準であろう。また、4県の数値は、王国合計に関する上記第12 (3) 表の75年ではなく、71年について公表された。49年と61年の63年公表値などを取りまとめたものが第12 (4) 表⁽²⁾である。比率計の〈100%〉は表示しない。

就業者計は、82年のB県を除いて、全4県で増加し続け、この期間を通じて、Z県が就業者計の第1位、D県第2位、L県第3位、B県第4位であった。49年と07年だけを取ると、07年の就業者計は、Z県で49年の2.4倍、D県2.5倍、L県2.7倍、に増加したのに対して、B県の増加は1.5倍に留まった。

第12 (4) 表 県の産業別就業者 (1849-1907年)

県	農業	工業	計	農業	工業	計
D県-49	95,959 [5.07%]	82,306 [4.34%]	245,912 [12.98%]	< 40%>	< 34%>	
D県-61	92,157 [4.14%]	120,431 [5.41%]	294,955 [13.25%]	< 31%>	< 41%>	
D県-71	71,106 [2.78%]	120,159 [4.70%]	316,179 [12.37%]	< 22%>	< 38%>	
	(68,346 [2.67%])	(57,794 [2.26%])	(178,881 [7.00%])	{38%}/96% /	{32%}/48% /	{-}/57% /
D県-82	87,723 [2.91%]	164,585 [5.46%]	367,642 [12.19%]	< 24%>	< 45%>	
D県-95	86,346 [2.30%]	240,067 [6.40%]	503,575 [13.42%]	< 17%>	<47.7%>	
D県-07	80,552 [1.76%]	293,205 [6.39%]	616,464 [13.44%]	< 13%>	<47.6%>	
L県-49	81,301 [4.29%]	75,560 [3.99%]	212,204 [11.20%]	< 38%>	< 36%>	
L県-61	77,605 [3.49%]	105,800 [4.74%]	249,591 [11.22%]	< 31%>	< 42%>	
L県-71	64,998 [2.54%]	104,869 [4.11%]	273,437 [10.70%]	<23.8%>	< 38%>	
	(61,981 [2.42%])	(46,464 [1.82%])	(158,364 [6.20%])	{39%}/95% /	{29%}/44% /	{-}/57.9% /
L県-82	72,237 [2.56%]	148,149 [4.91%]	321,222 [10.65%]	<24.0%>	< 46%>	
L県-95	78,096 [2.08%]	203,441 [5.42%]	429,357 [11.44%]	< 18%>	< 47%>	
L県-07	71,064 [1.55%]	285,845 [6.23%]	564,168 [12.30%]	< 13%>	< 51%>	
Z県-49	88,541 [4.67%]	193,384 [10.21%]	330,931 [17.47%]	< 27%>	< 58%>	
Z県-61	81,404 [3.66%]	277,314 [12.46%]	416,214 [18.70%]	< 20%>	< 67%>	
Z県-71	62,335 [2.44%]	299,077 [11.70%]	453,988 [17.76%]	< 14%>	< 66%>	
	(58,144 [2.27%])	(169,320 [6.62%])	(272,365 [10.65%])	{21%}/93% /	{62%}/57% /	{-}/60% /
Z県-82	74,851 [2.48%]	327,394 [10.86%]	481,944 [15.99%]	< 16%>	< 68%>	
Z県-95	74,891 [2.00%]	412,602 [10.99%]	616,524 [16.43%]	< 12%>	< 67%>	
Z県-07	62,993 [1.37%]	540,036 [11.78%]	796,630 [17.37%]	< 8%>	< 68%>	
B県-49	54,938 [2.90%]	71,774 [3.79%]	146,866 [7.75%]	< 37%>	< 49%>	
B県-61	51,117 [2.30%]	93,567 [4.20%]	168,226 [7.56%]	< 30%>	< 56%>	
B県-71	41,847 [1.64%]	91,394 [3.58%]	174,099 [6.81%]	< 24%>	<52.5%>	
	(40,471 [1.58%])	(77,039 [3.01%])	(144,921 [5.67%])	{28%}/97% /	{53%}/84.3% /	{-}/83% /
B県-82	53,077 [1.76%]	84,385 [2.80%]	163,670 [5.43%]	< 33%>	<51.6%>	
B県-95	51,638 [1.46%]	101,399 [2.70%]	192,607 [5.13%]	< 27%>	< 53%>	
B県-07	47,293 [1.03%]	119,905 [2.61%]	222,292 [4.85%]	< 21%>	< 54%>	
王国-49	320,739 [16.93%]	423,024 [22.33%]	935,913 [49.40%]	< 34%>	< 45%>	
王国-61	302,283 [13.58%]	597,112 [26.83%]	1,128,986 [50.74%]	< 27%>	< 53%>	
王国-71	240,286 [9.40%]	615,499 [24.08%]	1,217,703 [47.64%]	< 20%>	< 51%>	
	(228,942 [8.96%])	(350,617 [13.72%])	(754,531 [29.52%])	{30%}/95% /	{46%}/57.0% /	{-}/62% /

農業就業者は、82年の全4県の増加および95年のL県とZ県の増加を除けば、全県で減少し続けた。82年の増加の影響を受けて、07年の農業就業者は、71年よりも多かったけれども、L県で49年の87%、B県86%、D県84%、Z県71%、に減少した。農業就業者の構成比は、82年の上昇を除くと（L県は同率）、低下し続け、07年のそれは71年よりも低かった。農業就業者比率は、49年と07年を取ると、D県とL県で約4割→13%へ、Z県で27%→8%へ、著しく低下したけれども、B県は37%→21%への低下に留まった。D県の農業就業者は4県中、最大であった。Z県の農業就業者は、49年には第2位であったけれども、減少が著しいために、71年に第3位となった。B県の農業就業者は第4位であった。

工業就業者は、71年のD県、L県とB県の減少および82年のB県の減少以外は、全県で増加し続けた。07年の工業就業者はB県で49年の1.7倍、Z県2.8倍、D県3.6倍、L県3.8倍、に増加した。工業就業者はZ県が最大であり、B県が最小であった。工業就業者の構成比は、71年の全県の低下と95年のZ県の低下以外は、

上昇し続けた。工業就業者の比率は、B県で61年に、L県で07年に、5割を突破し、D県でも95年に5割に近づいた。Z県の同比率は、既に49年に6割に近く、82年には7割に近づいた。工業就業者は、Z県ではもちろん、B県でも既に49年に農業就業者を上回っていたが、D県とL県でも61年以後、農業就業者を上回った。農業就業者に対する工業就業者の比率は、D県で49年の86%から07年の3.6倍へ、L県で93%から4倍へ、Z県で2.2倍から15倍へ、上昇したのに対して、B県では1.3倍から2.5倍へ上昇したに過ぎなかった。

対王国総人口比においては、B県の就業者計のそれは低下し続けた。本領地域3県のそれは複雑に推移し、61年が最高であった。07年の同比率はD県とL県で49年よりもいくらか高く、Z県でいくらか低かった。農業就業者の対総人口比は、82年の上昇を除くと、全県で低下し続けた。農業就業者が最大のD県で、同比率は49年に5%を超えていたけれども、07年には2%以下に低下した。工業のそれは、本領地域3県では、71年に低下し、さらに、82年のZ県と07年のD県で低下したけれども、その他の時期には、上昇した。それに対して、B県では71年と82-07年に低下した。すなわち、同比率の上昇は61年のみであった。そのために、49年と07年を比較すると、D県とL県の工業就業者の対総人口比は2%余り、また、Z県は1%余り、上昇したが、B県のそれは1%余り低下した。

このように、一方で、本領地域3県における就業者計の高い増加率、農業就業者比率の著しい低下と工業就業者の急増、他方で、B県における就業者計の増加率の低さと対総人口比の低下、農業就業者比率の緩慢な低下と工業就業者の比較的緩慢な増加、が特徴的であった。

第3に、郡の就業者のうち、49年、61年と71年について、産業区分はいくらか異なるが、県域がほぼ同じである県の場合と異なって、産業区分も郡域も同じでないために、問題を含むけれども、修正値が公表されていないので、公表値に基づく数値を表示し、49年と61年については比率のみを検討する。49年と61年の統計は、投稿ページ数制限の関係で前稿に収め、第12(1)表⁽³⁾とした。その対王国総人口比を示すが、第12(1-2)表である。71年から07年までの郡の関連数値は第12(5)表⁽⁴⁾にまとめた。この中の71年統計は、49年および61年と同じように、都市と農村の数値を含む。なお、①比率計、〈100%〉は表示しない。71年の農村の比率計は「-」で示し、郡農業人口計などに占める農村農業人口などの比率は「%/」で示す。②82年のGla郡に属した領域の、71年の協定所領の就業者(表の数値よりも減少する)、したがって、82年のSchw郡とZwi郡に属した領域の、71年の就業者(増加する)、は筆者には推定不可能なので、これら3郡の71年の就業者数は原表のままとした。そのために、これら3郡の71年と82年の数値を正確に比較することはできない。

第12(5)表において、71年以後に郡の就業者数は増加した。もちろん、SchwとZwiの2郡もそうであった。ただし、82年にDip, Bor, Döb, Aue, MarとOelの計6郡、および、B県の全4郡(したがって、B県全体)、のそれは減少した。82年のGla郡の就業者数は71年の協定所領よりも小さいけれども、それは、上記のように、郡域の縮小に基づいていた。

71年以後に農業就業者は、82年の増加を除いて、減少した。ただし、Dre, Gron, Bor, Gri, Leip, Osc, Ann, Che, Gla, Oel, ZwiとLöbの計12郡では、95年にも僅かに増加した。07年の農業就業者は、82年の増加の影響を受けて、Aue, Flö, Mar, Oel, PlaとZwiの計6郡を除いて、71年よりも多かった。農業就業者が就業者計に占める比率は、82年の上昇を除くと(ただし、Dre, LeipとZwiの計3郡は低下し、Pla郡は同率であった)、低下し続けた。49年に農業就業者が就業者計の5割を超える郡は、D県Ⅱ郡(57%で、最も高い)、D県Ⅲ郡とL県Ⅲ郡、計3郡(全郡の2割)であったが、そのような郡は61年以後にはゼロとなった。07年の同比率が71年よりも高い郡は、DipとLöbの2郡で、Osc郡は同率であった。49年以後に、農業就業者の比率が最も高い郡は、D県Ⅱ郡(49年に57%、61年に45%)、71年に39%のGronとGriの2郡であった。同比率が最も高い郡は、82年にも07年にもDip郡(49%と37%)であった。農業就業者が3割

第12 (1-2) 表 産業別就業者の対王国総人口比 (1849-61年)

郡	農業	工業	計	郡	農業	工業	計	郡	農業	工業	計
I 郡-49	[1.24%]	[1.83%]	[4.92%]	III 郡-49	[1.19%]	[0.62%]	[2.25%]	協定-49	[0.44%]	[1.42%]	[2.14%]
	([1.16%])	([0.53%])	([1.99%])		([1.11%])	([0.25%])	([1.60%])		([0.34%])	([0.62%])	([1.13%])
I 郡-61	[1.20%]	[2.45%]	[5.86%]	III 郡-61	[0.81%]	[1.10%]	[2.28%]	協定-61	[0.37%]	[1.83%]	[2.52%]
	([1.13%])	([0.93%])	([2.47%])		([0.78%])	([0.56%])	([1.51%])		([0.34%])	([0.80%])	([1.24%])
II 郡-49	[1.48%]	[0.62%]	[2.59%]	IV 郡-49	[0.86%]	[0.80%]	[1.99%]	Z 県-49	[4.67%]	[10.35%]	[17.47%]
	([1.47%])	([0.35%])	([2.12%])		([0.85%])	([0.28%])	([1.28%])		([4.47%])	([5.42%])	([10.88%])
II 郡-61	[1.11%]	[0.85%]	[2.48%]	IV 郡-61	[0.82%]	[0.99%]	[2.20%]	Z 県-61	[3.66%]	[12.46%]	[18.70%]
	([1.09%])	([0.46%])	([1.84%])		([0.80%])	([0.38%])	([1.34%])		([3.40%])	([7.00%])	([11.46%])
III 郡-49	[1.60%]	[1.10%]	[3.35%]	L 県-49	[4.29%]	[4.20%]	[11.20%]	I 郡-49	[1.32%]	[1.11%]	[2.89%]
	([1.56%])	([0.58%])	([2.54%])		([4.12%])	([1.66%])	([6.67%])		([1.30%])	([0.76%])	([2.30%])
III 郡-61	[0.95%]	[0.82%]	[2.24%]	L 県-61	[3.49%]	[4.75%]	[11.22%]	I 郡-61	[1.36%]	[1.60%]	[3.52%]
	([0.88%])	([0.42%])	([1.55%])		([3.30%])	([2.19%])	([6.52%])		([1.33%])	([1.22%])	([2.88%])
IV 郡-49	[1.12%]	[1.23%]	[2.86%]	I 郡-49	[1.08%]	[2.72%]	[4.41%]	II 郡-49	[1.20%]	[2.49%]	[4.13%]
	([1.10%])	([0.84%])	([2.24%])		([1.05%])	([1.62%])	([2.91%])		([1.17%])	([2.24%])	([3.68%])
IV 郡-61	[0.88%]	[1.30%]	[2.68%]	I 郡-61	[0.78%]	[3.40%]	[4.86%]	II 郡-61	[0.93%]	[2.61%]	[4.04%]
	([0.84%])	([0.87%])	([1.99%])		([0.75%])	([2.20%])	([3.21%])		([0.89%])	([2.33%])	([3.53%])
D 県-49	[5.44%]	[4.79%]	[13.72%]	II 郡-49	[1.13%]	[2.34%]	[4.11%]	B 県-49	[2.52%]	[3.59%]	[7.01%]
	([5.29%])	([2.30%])	([8.89%])		([1.08%])	([1.28%])	([2.62%])		([2.46%])	([3.00%])	([5.98%])
D 県-61	[4.14%]	[5.41%]	[13.25%]	II 郡-61	[0.87%]	[2.59%]	[4.16%]	B 県-61	[2.30%]	[4.20%]	[7.56%]
	([3.94%])	([2.69%])	([7.85%])		([0.83%])	([1.46%])	([2.58%])		([2.22%])	([3.55%])	([6.42%])
I 郡-49	[1.32%]	[1.86%]	[4.69%]	III 郡-49	[0.76%]	[1.80%]	[2.99%]	王国-49	[16.93%]	[22.92%]	[49.40%]
	([1.26%])	([0.75%])	([2.34%])		([0.68%])	([0.97%])	([1.83%])		([16.36%])	([12.39%])	([32.42%])
I 郡-61	[0.88%]	[1.89%]	[4.51%]	III 郡-61	[0.63%]	[2.06%]	[3.06%]	王国-61	[13.58%]	[26.83%]	[50.73%]
	([0.83%])	([0.86%])	([2.12%])		([0.55%])	([1.22%])	([1.93%])		([12.88%])	([15.43%])	([32.25%])
II 郡-49	[0.92%]	[0.91%]	[2.27%]	IV 郡-49	[1.27%]	[2.03%]	[3.81%]				
	([0.85%])	([0.38%])	([1.45%])		([1.24%])	([0.94%])	([2.38%])				
II 郡-61	[0.98%]	[0.78%]	[2.23%]	IV 郡-61	[0.99%]	[2.58%]	[4.10%]				
	([0.90%])	([0.39%])	([1.55%])		([0.94%])	([1.32%])	([2.51%])				

以下の郡は、49年と61年にD県 I 郡、L県 I 郡、B県 II 郡とZ県全5郡、計8郡であった(全15郡の53%)。71年以後に3割以下の郡はDre, Fre, Döb (82年を除く), Leip, Roc, LöbとZitの7郡、それに、Z県全10郡、計17郡であった(全26郡の65%)。さらに、95年にPir郡が、07年にGron, Mei, Gri, BauとKamの計5郡が加わった。したがって、3割以下の郡は07年には計23郡に増加した(Z県全10郡とB県の全4郡を含み、全郡の88%)。49-71年に、農業就業者比率が最も低い郡は、協定所領(49年に21%, 61年に14%), 71年にChe郡(7%)であった。07年に同比率はDreとCheの2郡で極めて低く、4%で、Leip郡ではさらに低く、僅か3%であった(07年に1割以下の郡は計7)。

71年以後に工業就業者は、82年のDip, Aue, Mar, Oel, Bau, LöbとZitの計7郡、および、95年のDipとMarの2郡、を除いて、増加し続けた。上記7郡の中で、DipとMarの2郡の07年の工業就業者は71年よりも多く、その他の5郡の工業就業者は既に95年には71年よりも多かった。工業就業者の構成比は、82年のDip, LöbとZitの計3郡で、95年のDip, Fre, Gron, Ann, Aue, Che, Flö, GlaとMarの計9郡で、また、07年のDre, Fre, Gron, Gla, ZwiとLöbの計6郡で、低下した以外は、上昇し続けた。07年の同比率が71年よりも低い郡は、Dip, Che, Gla, LöbとZitの計5郡のみで、Fre郡は同率であった。工業就業者が全就業者の6割以上の郡は49年にZ県 I 郡、Z県 III 郡、協定所領とB県 II 郡、計4郡で、61年にZ県 II 郡と

Z県IV郡が加わり、6郡に増加した(全郡の4割)。71年に6割以上の郡は、Ann, Aue, Che, Gla, Pla, SchwとZitの計7郡であり、82年にFlöとZwiの2郡が、07年にはMar(82年にも既にそうであったが、95年に6割以下に低下)とOelの2郡が、加わり、11郡に増加した(全郡の38%)。なお、Löb郡は71年にのみ6割以上であった。49-71年に工業就業者の比率が最も高い郡は、協定所領(49年に66%、61年に73%)、71年にChe郡(73%)であった。82年以後に同比率が最も高い郡は、07年のAue郡(75%)であった。工業就業者が4割以下の郡は、49年にB県I郡、D県の3郡(IV郡を除く)とL県の全4郡、計8郡であった(全郡の53%)が、61年にはD県II郡、D県III郡とL県II郡の計3郡に減少した(全郡の2割)。4割以下の郡は、71年にDip, Gron, Mei, Pir, Bor, GriとOscの計7郡(全郡の27%)であったけれども、その中でPir郡が82年に、Mei郡が95年に、BorとGriの2郡が07年に4割以上となった。したがって、07年には工業就業者の比率が4割以下の郡は計3郡に減少した(全郡の12%)。工業就業者の比率が最も低いのは、D県II郡(49年に24%、61年に34%)、71年にOsc郡(25%)、07年にGron郡(31%)であった。

農業就業者が工業就業者よりも多い郡は、49年にD県II郡、D県III郡、B県I郡とL県の3郡(I郡を除く)、計6郡、61年にD県II郡、D県III郡とL県II郡の計3郡、71年にGron, Mei, Bor, GriとOscの計5郡、82年にDip, Gron, Mei, Bor, Gri, Osc, BauとKamの計8郡、95年にDip, Gron, Mei, BorとOscの計5郡であり、07年にはOsc郡のみであった。これらの諸郡の中で農業就業者が工業の2倍以上の郡は、49年のD県II郡(工業の2.4倍)のみで、他は2倍以下であった。農業就業者が工業就業者よりも多い郡の比率は、49年に全15郡の4割、61年に2割、71年に全26郡の19%、82年に31%であったが、95年に19%、07年には4%に低下した。反対に、上記諸郡を除く諸郡では、工業就業者が農業就業者よりも多く、その比率は大略で49年の全郡の6割から07年の96%に上昇した。特にZ県では、61年までの全5郡と71年以後の全10郡がそうであった。工業就業者は49年にB県II郡とZ県の3郡(IV郡と下記の協定所領を除く)、計4郡で農業の2倍以上で、協定所領で3倍以上であった。61年にD県I郡、L県I郡とB県II郡、計3郡で農業の2倍前後、Z県II郡とZ県III郡の2郡で3倍前後、Z県I郡で4倍以上で、協定所領で5倍であった。71年にDre, LeipとZitの3郡で農業の4倍、Aue郡で5倍、Ann郡と協定所領の2郡で6倍、Schw郡で7倍、Che郡で10倍であった。82年にDre, GlaとSchwの3郡で農業の約5倍、Leip郡6倍、Che郡8倍であった。07年を見ると、AnnとGlaの2郡で農業の7倍、Aue, PlaとSchwの3郡10倍、Dre郡12倍、Leip郡とChe郡17倍であった。ここに記した諸郡、すなわち、農業に対して工業就業者が増加した諸郡、の中に、Z県の多くの郡が常に見いだされる。また、61年のD県I郡とL県I郡の2郡、71年以後のDreとLeipの2郡では、この比率が急速に上昇した。82年以後のZit郡はこのような顕著な郡に含まれなかった。

郡の就業者計の対王国総人口比を第12(1-2)表と第12(5)表で見ると、同比率は49年にD県I郡が第1位で、第2位がZ県I郡、第3位はL県I郡であった。61年にも順位は同じであり、前2者の比率は僅かに上昇し、特にD県I郡は5%を突破したが、L県I郡の比率は僅かに低落した。3郡以外で、61年の比率が49年よりも上昇したのは、L県IV郡、B県I郡とZ県の4郡(I郡を除く)、の6郡のみであった。71年以後、就業者計の対総人口比は、Dre, Leip, Che, PlaとZwiの計5郡で上昇し続けた。ただし、Pla郡は82年に、Zwi郡は07年に、低下した。また、DöbとOelの2郡は95年にのみ、Gron, AueとSchwの3郡は07年にのみ、上昇した。それ以外の計16郡では同比率が低下し続けた。D県I郡、Z県I郡とL県I郡、計3郡だけの合計比率は49年の14%から61年の15%に上昇した。Dre(95年に7%を突破)、Leip(07年に7%を突破)とCheの3郡の合計比率は大略で71年の13%から07年の20%に近づいた。07年にこの3郡の就業者は総人口の2割近くを占めていたわけである。71年のSchwとZwiの2郡は原表の数値で82年と比較したが、71年の協定所領と82年のGla郡の関係は確定できない。

郡の農業就業者の対総人口比は71年以後、82年の上昇を除いて、低下した。ただし、82年にMei, Gri,

第12 (5-1) 表 郡の就業者 (ドレーズデン県 1871-1907年)

郡	農業	工業	計	農業	工業	計
Dip-71	9,152 [0.36%] (8,827 [0.35%])	9,803 [0.38%] (6,269 [0.25%])	25,300 [0.99%] (19,897 [0.78%])	<36%> 44% /96%/	<39%> 32% /64%/	- /79%/
Dip-82	11,161 [0.37%]	8,211 [0.27%]	22,791 [0.76%]	<49%>	<36%>	
Dip-95	10,527 [0.28%]	8,205 [0.22%]	24,041 [0.64%]	<44%>	<34%>	
Dip-07	9,842 [0.22%]	10,071 [0.22%]	26,778 [0.58%]	<37%>	<38%>	
Dre-71	12,845 [0.50%] (11,805 [0.46%])	52,499 [2.05%] (16,594 [0.65%])	132,299 [5.18%] (43,272 [1.69%])	<10%> 27% /92%/	<40%> 38% /32%/	- /33%/
Dre-82	16,223 [0.54%]	84,775 [2.81%]	175,765 [5.83%]	<9%>	<48%>	
Dre-95	16,812 [0.45%]	144,413 [3.85%]	278,715 [7.43%]	<6%>	<52%>	
Dre-07	14,781 [0.32%]	177,052 [3.86%]	354,218 [7.72%]	<4%>	<50%>	
Fre-71	10,198 [0.40%] (9,965 [0.39%])	22,726 [0.89%] (16,363 [0.64%])	46,456 [1.82%] (34,832 [1.36%])	<22%> 29% /98%/	<49%> 47% /72%/	- /75%/
Fre-82	13,020 [0.43%]	24,435 [0.81%]	47,805 [1.59%]	<27%>	<51%>	
Fre-95	12,692 [0.34%]	26,001 [0.69%]	52,187 [1.39%]	<25%>	<50%>	
Fre-07	10,896 [0.24%]	26,227 [0.57%]	53,261 [1.16%]	<20%>	<49%>	
Gron-71	10,691 [0.42%] (10,413 [0.41%])	7,734 [0.30%] (3,816 [0.15%])	27,441 [0.96%] (19,892 [0.78%])	<39%> 52% /97%/	<28%> 19% /49%/	- /72%/
Gron-82	12,831 [0.43%]	10,316 [0.34%]	29,085 [0.96%]	<44%>	<35%>	
Gron-95	13,380 [0.36%]	11,517 [0.31%]	35,899 [0.96%]	<37%>	<32%>	
Gron-07	13,185 [0.29%]	14,540 [0.32%]	46,959 [1.02%]	<28%>	<31%>	
Mei-71	14,789 [0.58%] (14,518 [0.57%])	11,505 [0.45%] (6,810 [0.27%])	39,359 [1.54%] (30,115 [1.18%])	<38%> 48% /98%/	<29%> 23% /59%/	- /77%/
Mei-82	17,143 [0.57%]	16,215 [0.54%]	41,991 [1.39%]	<41%>	<39%>	
Mei-95	16,783 [0.45%]	21,781 [0.58%]	50,877 [1.36%]	<33%>	<43%>	
Mei-07	16,541 [0.36%]	28,385 [0.62%]	60,679 [1.32%]	<27%>	<47%>	
Pir-71	13,431 [0.53%] (12,818 [0.50%])	15,892 [0.62%] (7,942 [0.31%])	45,324 [1.77%] (30,873 [1.21%])	<30%> 42% /95%/	<35%> 26% /50%/	- /68%/
Pir-82	17,345 [0.58%]	21,995 [0.73%]	50,205 [1.67%]	<35%>	<44%>	
Pir-95	16,152 [0.43%]	28,150 [0.75%]	62,054 [1.65%]	<26%>	<45%>	
Pir-07	15,307 [0.33%]	36,930 [0.79%]	74,569 [1.63%]	<21%>	<50%>	

Flö, MarとZwiの計5郡で、そして、恐らくGla郡でも、下落し、Döb, Roc, Aue, OelとKamの計5郡では同率であった。また、Pla郡では07年に上昇した。同比率は49年にD県Ⅲ郡で最も高く(1.6%)、L県Ⅰ郡、L県Ⅲ郡、Z県Ⅰ郡、Z県Ⅱ郡、Z県Ⅳ郡、さらに、D県全4郡とB県全2郡、計11郡(全郡の73%)が1%以上であった。61年に1%以上はD県Ⅰ郡、D県Ⅱ郡とB県Ⅰ郡、計3郡(全郡の2割)に減少した。82年に同比率はBau郡(0.6%)が最も高く、0.5%を超える郡は、その他にDre, Mei, PirとGriの計5郡のみであった。これら5郡の中でBau郡は95年にも最も高く、0.5%を占めたけれども、他の4郡は95年に0.5%以下に低下した。07年に同比率が0.4%を超える郡はなかった。

工業就業者計の対総人口比は71年以後、Dip, Fre, Bor, Döb, Osc, Roc, Ann, Aue, Flö, Mar, Schw, Bau, Löb, Zitの計14郡で、そして、82年以後のGla郡で、低下した(同率を含む)。ただし、Döb郡では95年に、Roc, Aue, Flö, SchwとBauの計5郡では07年に、同比率が上昇した。したがって、計9郡(71年以後のGla郡を加えて、10郡とすると、全郡の38%)で同比率が低下し続けた。それに対して、Dre, Gron, Mei, Pir, Gri, Leip, Che, Oel, Pla, ZwiとKamの計11郡では、同比率が上昇した。ただし、OelとKamの2郡では82年に、Gron郡では95年に、低下した。したがって、8郡(全郡の31%)で同比率

第12 (5-2) 表 郡の就業者 (ライプツィヒ県 1871-1907年)

郡	農業	工業	計	農業	工業	計
Bor-71	10,704 [0.42%] (10,041 [0.39%])	9,456 [0.37%] (3,214 [0.13%])	30,972 [1.21%] (18,763 [0.73%])	<35%> 54% /94%/	<31%> 17% /34%/	- /61%/
Bor-82	12,958 [0.43%]	11,289 [0.37%]	30,314 [1.01%]	<43%>	<37.2%>	
Bor-95	12,973 [0.35%]	12,613 [0.34%]	34,049 [0.91%]	<38%>	<37.0%>	
Bor-07	11,763 [0.26%]	16,813 [0.37%]	38,216 [0.83%]	<31%>	<44%>	
Döb-71	12,042 [0.47%] (11,722 [0.46%])	19,220 [0.75%] (7,061 [0.28%])	44,228 [1.73%] (25,269 [0.99%])	<27%> 46% /97%/	<43%> 28% /37%/	- /57%/
Döb-82	14,302 [0.47%]	19,814 [0.66%]	44,091 [1.46%]	<32%>	<45%>	
Döb-95	14,194 [0.38%]	25,512 [0.68%]	55,096 [1.47%]	<26%>	<46%>	
Döb-07	13,326 [0.29%]	30,037 [0.66%]	61,242 [1.34%]	<22%>	<49%>	
Gri-71	13,905 [0.54%] (13,131 [0.51%])	9,516 [0.37%] (4,560 [0.18%])	35,630 [1.39%] (24,062 [0.94%])	<39%> 55% /94%/	<27%> 19% /48%/	- /68%/
Gri-82	15,315 [0.51%]	13,035 [0.43%]	36,108 [1.20%]	<42%>	<36%>	
Gri-95	15,545 [0.41%]	16,618 [0.44%]	44,787 [1.19%]	<35%>	<37%>	
Gri-07	14,546 [0.32%]	21,218 [0.46%]	51,511 [1.12%]	<28%>	<41%>	
Leip-71	8,477 [0.33%] (7,963 [0.31%])	39,622 [1.55%] (16,553 [0.65%])	96,852 [3.79%] (44,124 [1.73%])	< 9%> 18% /94%/	<41%> 38% /42%/	- /46%/
Leip-82	11,073 [0.37%]	74,360 [2.47%]	144,270 [4.79%]	< 8%>	<51.5%>	
Leip-95	11,773 [0.31%]	113,916 [3.04%]	218,947 [5.83%]	< 5%>	<52.0%>	
Leip-07	10,326 [0.23%]	174,620 [3.81%]	326,648 [7.12%]	< 3%>	<53%>	
Osc-71	9,022 [0.35%] (8,611 [0.34%])	6,244 [0.24%] (3,389 [0.13%])	24,741 [0.97%] (18,410 [0.72%])	<36%> 47% /95%/	<25%> 18% /54%/	- /74%/
Osc-82	10,809 [0.36%]	7,244 [0.24%]	24,833 [0.82%]	<44%>	<29.2%>	
Osc-95	11,109 [0.30%]	7,724 [0.21%]	27,001 [0.72%]	<41%>	<28.6%>	
Osc-07	10,029 [0.22%]	9,084 [0.20%]	28,218 [0.62%]	<36%>	<32%>	
Roc-71	10,848 [0.42%] (10,513 [0.41%])	20,811 [0.81%] (11,687 [0.46%])	41,014 [1.60%] (27,736 [1.09%])	<26%> 38% /97%/	<50%> 42% /56%/	- /68%/
Roc-82	12,780 [0.42%]	22,409 [0.74%]	41,606 [1.38%]	<31%>	<54%>	
Roc-95	12,502 [0.33%]	27,058 [0.72%]	49,477 [1.32%]	<25%>	<55%>	
Roc-07	11,074 [0.24%]	34,073 [0.74%]	58,333 [1.27%]	<19%>	<58%>	

が上昇し続けた。工業就業者の対総人口比が最も高い郡は、49年と61年にZ県I郡(2.7%→3.4%)で、B県II郡、Z県II郡、Z県IV郡(2.0%→2.6%)が続いた。これらの4郡の比率は上昇した。71年から07年までにDre、Leip、Che、Pla(1.0%→1.5%)とZwi(1.1%→1.8%)の5郡は同比率を上昇させた。この中でDre、LeipとCheの3郡の71年、82年、95年と07年の比率を見ると、Dre郡2.1%→2.8%→3.9%→3.9%、Leip郡1.5%→2.5%→3.0%→3.8%、Che郡2.6%→2.7%→2.9%→3.3%、となる。後のChe郡を含むZ県I郡は、上記のように、49年と61年に最高の比率を示したし、Che郡は71年に最高の比率を示した、すなわち、王国の工業発展をこれまで牽引してきたけれども、Dre郡とLeip郡が躍進して、Dre郡の比率は82年に、Leip郡は95年に、Che郡を上回り、95年にChe郡は第3位に低下した。他方では、71年に1%以上を占めた、他の5郡は、07年までにその比率を低下させた。すなわち、Gla郡(協定所領)1.7%→1.1%、Schw郡1.1%→1.0%、Ann郡1.1%→0.8%、Löb郡1.2%→0.7%、Zit郡1.3%→0.8%、であった。特にGla、LöbとZitの3郡の比率低下が顕著であった。

ここで、王国の3大都市、ドレースデン(略号D市)、ライプツィヒ⁽⁵⁾(同L市)とケムニツ(同C市)を取り上げる。第13(3)表⁽⁶⁾の第1欄、人口で見て、1832年から07年まで3市の人口は増加し続けた。

第12 (5-3) 表 郡の就業者 (ツヴィカウ県 1871-1907年)

郡	農業	工業	計	農業	工業	計
Ann-71	4,560 [0.18%] (3,737 [0.15%])	27,442 [1.07%] (14,778 [0.58%])	40,467 [1.58%] (22,434 [0.88%])	< 11% 17% /82% /	< 68% 66% /54% /	< 79% 17% /55% /
Ann-82	6,326 [0.21%]	29,052 [0.96%]	40,517 [1.34%]	< 16%	< 72%	
Ann-95	6,594 [0.18%]	31,085 [0.83%]	45,846 [1.22%]	< 14%	< 68%	
Ann-07	5,309 [0.12%]	35,399 [0.77%]	51,121 [1.11%]	< 10%	< 69%	
Aue-71	4,506 [0.18%] (4,301 [0.17%])	22,510 [0.88%] (15,910 [0.62%])	32,136 [1.26%] (23,847 [0.93%])	< 14% 18% /95% /	< 70% 67% /71% /	< 82% 18% /74% /
Aue-82	5,307 [0.18%]	21,379 [0.71%]	30,309 [1.01%]	< 18%	< 71%	
Aue-95	5,029 [0.13%]	26,187 [0.70%]	37,831 [1.01%]	< 13%	< 69%	
Aue-07	3,966 [0.09%]	41,792 [0.91%]	55,951 [1.22%]	< 7%	< 75%	
Che-71	6,594 [0.26%] (6,375 [0.25%])	66,409 [2.60%] (42,086 [1.65%])	90,817 [3.55%] (55,437 [2.17%])	< 7% 11% /97% /	< 73.1% 76% /61% /	< 80.1% 11% /61% /
Che-82	9,574 [0.32%]	80,755 [2.68%]	111,177 [3.69%]	< 9%	< 72.6%	
Che-95	9,987 [0.27%]	107,655 [2.87%]	155,281 [4.14%]	< 6%	< 69.3%	
Che-07	8,186 [0.18%]	151,070 [3.29%]	219,123 [4.78%]	< 4%	< 68.9%	
Flö-71	6,307 [0.25%] (6,099 [0.24%])	19,415 [0.76%] (10,708 [0.42%])	32,824 [1.28%] (21,102 [0.83%])	< 19% 29% /97% /	< 59% 51% /55% /	< 74% 29% /64% /
Flö-82	6,992 [0.23%]	20,975 [0.70%]	33,294 [1.10%]	< 21%	< 63%	
Flö-95	6,887 [0.18%]	23,211 [0.62%]	37,540 [1.00%]	< 18%	< 62%	
Flö-07	5,862 [0.13%]	29,620 [0.65%]	45,542 [0.99%]	< 13%	< 65%	
協定-71	6,630 [0.26%] (6,208 [0.24%])	42,403 [1.66%] (19,547 [0.76%])	59,395 [2.32%] (29,732 [1.16%])	< 11% 21% /94% /	< 71.4% 66% /46% /	< 82.4% 21% /50% /
Gla-82	7,611 [0.25%]	36,382 [1.21%]	50,910 [1.69%]	< 15%	< 71.5%	
Gla-95	7,719 [0.21%]	43,839 [1.17%]	62,895 [1.68%]	< 12%	< 70%	
Gla-07	7,094 [0.15%]	48,598 [1.06%]	71,387 [1.56%]	< 10%	< 68%	
Mar-07	5,440 [0.21%] (4,834 [0.19%])	15,571 [0.61%] (11,865 [0.46%])	26,881 [1.05%] (20,746 [0.81%])	< 20% 23% /89% /	< 58% 57% /76% /	< 69% 23% /77% /
Mar-82	6,057 [0.20%]	14,927 [0.50%]	24,925 [0.83%]	< 24%	< 60%	
Mar-95	5,722 [0.15%]	14,872 [0.40%]	26,216 [0.70%]	< 22%	< 57%	
Mar-07	5,176 [0.11%]	17,662 [0.39%]	29,670 [0.65%]	< 17%	< 60%	
Oel-71	5,722 [0.22%] (5,434 [0.21%])	12,607 [0.49%] (7,613 [0.30%])	22,935 [0.90%] (16,203 [0.63%])	< 25% 34% /95% /	< 55% 47% /60% /	< 70% 34% /71% /
Oel-82	6,484 [0.22%]	12,201 [0.40%]	21,941 [0.73%]	< 30%	< 56%	
Oel-95	6,627 [0.18%]	17,328 [0.46%]	29,425 [0.78%]	< 23%	< 58%	
Oel-07	5,287 [0.12%]	21,531 [0.47%]	35,121 [0.77%]	< 15%	< 61%	
Pla-71	7,460 [0.29%] (7,051 [0.28%])	24,677 [0.97%] (6,224 [0.24%])	41,402 [1.62%] (16,909 [0.66%])	< 18.0% 42% /95% /	< 60% 37% /25% /	< 78.0% 42% /41% /
Pla-82	8,957 [0.30%]	32,296 [1.07%]	48,482 [1.61%]	< 18.5%	< 67%	
Pla-95	8,792 [0.23%]	48,753 [1.30%]	70,248 [1.87%]	< 13%	< 69.4%	
Pla-07	7,298 [0.16%]	69,612 [1.52%]	101,433 [2.21%]	< 7%	< 68.6%	
Schw-71	3,397 [0.13%] (2,886 [0.11%])	27,146 [1.06%] (16,357 [0.64%])	38,373 [1.50%] (24,730 [0.97%])	< 9% 12% /85% /	< 70.7% 66% /60% /	< 79.7% 12% /64% /
Schw-82	5,412 [0.18%]	28,617 [0.95%]	40,205 [1.33%]	< 13%	< 71.2%	
Schw-95	5,399 [0.14%]	32,674 [0.87%]	46,341 [1.23%]	< 12%	< 70.5%	
Schw-07	3,954 [0.09%]	43,990 [0.96%]	59,994 [1.31%]	< 7%	< 73%	
Zwi-71	11,718 [0.46%] (11,219 [0.44%])	40,897 [1.60%] (22,802 [0.89%])	68,749 [2.69%] (41,225 [1.61%])	< 17% 27% /96% /	< 59% 55% /56% /	< 76% 27% /60% /
Zwi-82	12,131 [0.40%]	51,251 [1.70%]	80,184 [2.66%]	< 15%	< 63.9%	
Zwi-95	12,135 [0.32%]	66,988 [1.78%]	104,891 [2.79%]	< 13%	< 63.9%	
Zwi-07	10,870 [0.24%]	80,762 [1.76%]	127,288 [2.78%]	< 9%	< 63.4%	

第12 (5-4) 表 郡の就業者 (パウツェン県 1871-1907年)

郡	農業	工業	計	農業	工業	計
Bau-71	15,585 [0.61%] (15,273 [0.60%])	19,211 [0.75%] (14,607 [0.57%])	48,478 [1.90%] (38,837 [1.52%])	< 32%> [39%]/98%/	<39.6%> [38%]/76%/	- /80%/
Bau-82	19,269 [0.64%]	19,077 [0.63%]	46,833 [1.55%]	<41.1%>	<40.7%>	
Bau-95	18,629 [0.50%]	23,330 [0.62%]	54,687 [1.46%]	< 34%>	< 43%>	
Bau-07	17,144 [0.37%]	30,814 [0.67%]	65,538 [1.43%]	< 26%>	< 47%>	
Kam-71	9,678 [0.38%] (9,454 [0.37%])	10,640 [0.42%] (7,626 [0.30%])	26,796 [1.05%] (21,500 [0.84%])	< 36%> [44%]/98%/	< 40%> [35%]/72%/	- /80%/
Kam-82	11,485 [0.38%]	10,983 [0.36%]	25,662 [0.85%]	< 45%>	< 43%>	
Kam-95	10,943 [0.29%]	13,903 [0.37%]	30,272 [0.81%]	< 36%>	< 46%>	
Kam-07	10,858 [0.24%]	18,007 [0.39%]	36,643 [0.80%]	< 30%>	< 49%>	
Löb-71	9,332 [0.37%] (9,074 [0.35%])	29,591 [1.16%] (27,203 [1.06%])	48,654 [1.90%] (44,311 [1.73%])	< 19%> [20%]/97%/	< 61%> [61%]/92%/	- /91%/
Löb-82	12,785 [0.42%]	25,492 [0.85%]	43,980 [1.46%]	< 29%>	<58.0%>	
Löb-95	12,914 [0.34%]	29,793 [0.79%]	51,372 [1.37%]	< 25%>	<57.9%>	
Löb-07	10,998 [0.24%]	32,351 [0.71%]	56,283 [1.23%]	< 20%>	<57.5%>	
Zit-71	7,252 [0.28%] (6,610 [0.26%])	31,952 [1.25%] (27,603 [1.08%])	50,171 [1.96%] (40,273 [1.58%])	< 14%> [16%]/91%/	< 64%> [69%]/86%/	- /80%/
Zit-82	9,538 [0.32%]	28,833 [0.96%]	47,195 [1.57%]	< 20%>	<61.1%>	
Zit-95	9,152 [0.24%]	34,373 [0.92%]	56,276 [1.50%]	< 16%>	<61.1%>	
Zit-07	8,293 [0.18%]	38,733 [0.84%]	63,828 [1.39%]	< 13%>	<60.7%>	

49年を基準として、1%/で示すと、増加率は王国総人口が第13 (2) 表で2.4倍であったのに対して、D市5倍余り、L市とC市約8倍であった。人口計の第1位はD市であった(95年のみL市)。3市人口の合計は、32年の総人口の1割弱から07年には28%に近づいた(L市が95年に、D市が07年に、総人口の1割を超えた)。人口密度(表で密度と略記)は、王国で上昇し続けたのであるが、3市では、85年まで上昇したけれども、85年以後は、周辺農村自治体の併合によって市域が急拡大したために、低下し続けた(L市のみ05年に上昇)。

第13 (1) 表⁽⁷⁾の産業別人口において、49年以後、農業人口は、71年の3市と07年のL市を除いて、増加し続けた。この増加は、82年には、王国全体で農業人口が統計上、増加した事態の一環であり、同年以後は市域拡大の結果であった。工業人口も増加し続けた。49年から07年までの増加率はD市5.5倍、C市7.3倍、L市は最も高く、8.2倍であった。

人口計に占める農業人口の比率は、農業人口が増加したにも拘わらず、極めて低く、2%を超えたのは、49年のD市のみであった。工業人口の構成比は、71年の3市、95年のC市および07年のL市とC市を除いて、上昇し続けた。C市の同比率は、既に49年に76%、71年に67%(その後もほぼ同じ)で、3市の中で常に最高であったが、L市が95年に5割を突破し、D市も07年に5割に達した。

3市農業人口の対王国総人口比は極めて低かった。工業人口の同比率は、71年のL市を除いて、上昇し続けた。工業人口は49年と71年にD市が第1位、C市が第2位であったけれども、L市の工業人口は71年以後、激増し、82年にC市を上回り、95年にはD市を抑えて、第1位に上昇した。工業人口の3市合計比率は49年に6%以下であったが、07年には12%(49年の約2倍)に近づいた。

3市の就業者計は49年から07年まで増加した。増加率で見ると、C市が最も高く(8.5倍)、L市が第2位(7倍近く)であった。農業就業者は、71年に減少した後、増加し、07年には、D市で49年の2倍余り、L市で3倍余り、C市で4倍余り、となった。しかし、就業者計に占める農業の比率は、極めて低く、2%

第13 (1) 表 3大都市の産業別人口と就業者 (1849-1907年)

市	産業別人口			就業者数		
	農業	工業	計	農業	工業	計
D市-49	2,327/100% / (2.5%) [0.12%]	46,800/100% / (50%) [2.47%]	94,092/100% / (100%) [4.97%]	1,156/100% / <2.2%) [0.06%]	23,334/100% / < 44%) [1.23%]	53,150/100% / <100%) [2.81%]
D市-71	1,899/82% / (1.07%) [0.07%]	64,529/138% / (36%) [2.52%]	177,089/188% / (100%) [6.93%]	930/80% / <1.1%) [0.04%]	34,078/146% / < 40%) [1.33%]	85,696/161% / <100%) [3.35%]
D市-82	2,333/101% / (1.05%) [0.08%]	100,413/215% / (45%) [3.33%]	222,241/236% / (100%) [7.37%]	1,190/103% / <1.1%) [0.01%]	49,471/212% / < 46%) [1.57%]	108,708/205% / <100%) [3.61%]
D市-95	3,869/166% / (1.2%) [0.10%]	156,079/334% / (48%) [4.16%]	324,350/345% / (100%) [8.64%]	2,203/191% / <1.3%) [0.06%]	82,025/353% / <48.0%) [2.19%]	170,687/321% / <100%) [4.55%]
D市-07	5,376/231% / (1.0%) [0.12%]	256,310/548% / (50%) [5.59%]	512,228/544% / (100%) [11.17%]	2,709/234% / <1.1%) [0.06%]	120,487/516% / <47.8%) [2.63%]	251,864/474% / <100%) [5.49%]
L市-49	996/100% / (1.6%) [0.07%]	32,607/100% / (52%) [1.72%]	62,374/100% / (100%) [3.29%]	582/100% / <1.9%) [0.03%]	15,714/100% / <43.2%) [0.83%]	36,383/100% / <100%) [1.92%]
L市-71	491/49% / (0.46%) [0.02%]	42,279/130% / (40%) [1.65%]	106,925/171% / (100%) [4.18%]	198/34% / <0.4%) [0.01%]	21,403/136% / <43.3%) [0.84%]	49,434/136% / <100%) [1.93%]
L市-82	724/73% / (0.47%) [0.02%]	69,260/212% / (45%) [2.30%]	154,345/247% / (100%) [5.12%]	335/58% / <0.5%) [0.01%]	34,061/217% / < 46%) [1.13%]	73,703/203% / <100%) [2.44%]
L市-95	4,088/410% / (1.1%) [0.11%]	206,425/633% / (53.4%) [5.50%]	386,410/620% / (100%) [10.30%]	1,943/334% / <1.1%) [0.05%]	92,680/590% / <52.5%) [2.47%]	176,566/485% / <100%) [4.70%]
L市-07	3,720/373% / (0.7%) [0.08%]	266,904/819% / (52.8%) [5.82%]	505,026/810% / (100%) [11.01%]	1,832/315% / <0.7%) [0.04%]	130,808/832% / <52.5%) [2.85%]	249,038/684% / <100%) [5.43%]
C市-49	388/100% / (1.3%) [0.02%]	23,394/100% / (76%) [1.23%]	30,753/100% / (100%) [1.62%]	204/100% / <1.4%) [0.01%]	10,284/100% / < 69%) [0.54%]	14,956/100% / <100%) [0.79%]
C市-71	331/85% / (0.5%) [0.01%]	45,345/194% / (66.5%) [1.77%]	68,229/222% / (100%) [2.67%]	121/59% / <0.4%) [- %]	21,387/208% / <68.2%) [0.84%]	31,355/210% / <100%) [1.23%]
C市-82	593/153% / (0.6%) [0.02%]	65,099/278% / (66.6%) [2.16%]	97,716/318% / (100%) [3.24%]	295/145% / <0.7%) [0.01%]	30,892/300% / <68.1%) [1.02%]	45,368/303% / <100%) [1.50%]
C市-95	1,206/311% / (0.8%) [0.03%]	104,350/446% / (66.2%) [2.78%]	157,623/513% / (100%) [4.20%]	611/300% / <0.8%) [0.02%]	48,192/469% / < 66%) [1.28%]	73,599/492% / <100%) [1.96%]
C市-07	1,811/467% / (0.7%) [0.04%]	171,208/732% / (65.6%) [3.73%]	260,795/848% / (100%) [5.69%]	895/439% / <0.7%) [0.02%]	83,295/810% / < 65%) [1.82%]	128,420/857% / <100%) [2.80%]

を超えたのは、49年のD市のみであった。工業就業者は増加し続けた。07年にD市で49年の5倍余りに、L市とC市で8倍余りに、増加した。工業就業者の構成比はC市で65-68%で、最も高かったが、95年に、D市は5割に近づき、L市は5割を突破した。

就業者計の対総人口比は上昇した。その3市合計は、49年の5.5%から07年には13.7% (49年の約2.5倍) まで高まった。農業就業者の対総人口比は低く、3市合計で07年に0.2%に達しなかった。工業就業者のそれは上昇し続けた。同比率は82年までD市が第1位、L市が第2位であったけれども、L市は95年に第1位に上昇し、07年にもその地位を保った。C市は常に第3位であった。3市工業就業者の対総人口比合計は49年の2.6%から07年には7.3% (49年の約2.8倍) に上昇した。

第13 (2) 表と第13 (3) 表において、第1欄の人口は、第4-第6欄の3宗派以外のキリスト教諸宗派とユダヤ教以外の諸宗教 (極めて少数) を含む。なお、以下では福音ルター派をルター派、福音改革派 (福音新教を改めた) を改革派、ローマ・カトリックをカトリックと略記する。

第13 (2) 表に掲げた4宗派の信徒数は、王国で32年から07年まで増加した。第13 (1) 表と同じ49年を

第13 (2) 表 王国と県の人口、面積と宗教人口 (1832-1905年)

県	人口	面積	密度	福音ルター派	福音改革派	ローマ・カトリック	ユダヤ教
D県-49	509,655 〈100%〉 [26.90%]	4,337	118	500,880 〈98.28%〉 [26.44%]	692 〈0.14%〉 [0.04%]	7,020 〈 1.38%〉 [0.37%]	680 〈0.13%〉 [0.04%]
D県-71	677,671 〈100%〉 [26.51%]		156	656,666 〈96.90%〉 [25.69%]	2,743 〈0.40%〉 [0.11%]	14,682 〈 2.17%〉 [0.57%]	1,319 〈0.19%〉 [0.05%]
D県-85	860,558 〈100%〉 [27.04%]		198	822,811 〈95.61%〉 [25.86%]	2,912 〈0.34%〉 [0.09%]	28,463 〈 3.31%〉 [0.89%]	2,597 〈0.30%〉 [0.08%]
D県-95	1,067,757 〈100%〉 [28.19%]		246	1,005,529 〈94.17%〉 [26.55%]	2,959 〈0.28%〉 [0.08%]	51,908 〈 4.86%〉 [1.37%]	2,867 〈0.27%〉 [0.08%]
D県-05	1,284,397 〈100%〉 [28.49%]		296	1,194,614 〈93.01%〉 [26.54%]	4,247 〈0.33%〉 [0.09%]	75,399 〈 5.87%〉 [1.67%]	3,931 〈0.31%〉 [0.09%]
L県-49	428,532 〈100%〉 [22.62%]	3,567	120	424,119 〈98.97%〉 [22.39%]	1,555 〈0.36%〉 [0.08%]	2,055 〈 0.48%〉 [0.11%]	327 〈0.08%〉 [0.02%]
L県-71	589,377 〈100%〉 [23.06%]		161	577,138 〈97.92%〉 [22.58%]	4,382 〈0.74%〉 [0.17%]	4,812 〈 0.82%〉 [0.19%]	1,793 〈0.30%〉 [0.07%]
L県-85	774,036 〈100%〉 [24.33%]		217	749,036 〈96.77%〉 [23.54%]	6,010 〈0.78%〉 [0.19%]	12,262 〈 1.58%〉 [0.39%]	3,928 〈0.51%〉 [0.12%]
L県-95	945,179 〈100%〉 [24.95%]		265	906,616 〈95.92%〉 [23.94%]	6,520 〈0.69%〉 [0.17%]	23,793 〈 2.52%〉 [0.63%]	5,109 〈0.54%〉 [0.13%]
L県-05	1,146,423 〈100%〉 [25.43%]		321	1,082,190 〈94.40%〉 [24.00%]	8,649 〈0.75%〉 [0.19%]	41,703 〈 3.64%〉 [0.92%]	8,093 〈0.71%〉 [0.18%]
Z県-49	694,268 〈100%〉 [36.48%]	4,620	150	690,495 〈99.46%〉 [36.45%]	263 〈0.04%〉 [0.01%]	2,555 〈 0.37%〉 [0.13%]	13 〈 - %〉 [- %]
Z県-71	959,063 〈100%〉 [37.52%]		208	948,141 〈98.86%〉 [37.09%]	1,881 〈0.20%〉 [0.07%]	7,168 〈 0.75%〉 [0.28%]	151 〈0.02%〉 [0.01%]
Z県-85	1,190,849 〈100%〉 [37.42%]		258	1,168,263 〈98.10%〉 [36.71%]	1,048 〈0.09%〉 [0.03%]	16,381 〈 1.38%〉 [0.51%]	979 〈0.08%〉 [0.03%]
Z県-95	1,389,672 〈100%〉 [36.69%]		301	1,351,755 〈97.27%〉 [35.69%]	800 〈0.06%〉 [0.02%]	29,692 〈 2.14%〉 [0.78%]	1,648 〈0.12%〉 [0.05%]
Z県-05	1,651,361 〈100%〉 [36.63%]		357	1,577,846 〈95.55%〉 [35.00%]	1,624 〈0.10%〉 [0.04%]	56,573 〈 3.43%〉 [1.25%]	2,401 〈0.15%〉 [0.05%]
B県-49	261,976 〈100%〉 [13.83%]	2,470	106	239,747 〈91.51%〉 [12.66%]	72 〈 - %〉 [- %]	22,095 〈 8.43%〉 [1.17%]	2 〈 - %〉 [- %]
B県-71	330,133 〈100%〉 [12.91%]		134	302,130 〈91.52%〉 [11.82%]	341 〈0.10%〉 [0.01%]	26,980 〈 8.17%〉 [1.04%]	83 〈0.03%〉 [- %]
B県-85	356,560 〈100%〉 [11.21%]		144	324,455 〈91.00%〉 [10.20%]	223 〈0.06%〉 [0.01%]	29,846 〈 8.37%〉 [0.94%]	251 〈0.07%〉 [0.01%]
B県-95	385,080 〈100%〉 [10.17%]		156	347,770 〈90.31%〉 [9.18%]	259 〈0.07%〉 [0.01%]	34,892 〈 9.06%〉 [0.92%]	278 〈0.07%〉 [0.01%]
B県-05	426,420 〈100%〉 [9.46%]		173	378,849 〈88.84%〉 [8.40%]	606 〈0.14%〉 [0.01%]	44,358 〈10.40%〉 [0.98%]	272 〈0.06%〉 [0.01%]
王国-32	1,558,153/82% / [100%]	14,993	104	1,528,187/82% / [98.08%]	1,390/54% / [0.09%]	27,663/82% / [1.78%]	874/86% / [0.06%]
王国-49	1,894,431/100% / [100%]		126	1,855,241/100% / [97.93%]	2,582/100% / [0.14%]	33,725/100% / [1.78%]	1,022/100% / [0.05%]
王国-71	2,556,244/135% / [100%]		170	2,484,075/134% / [97.18%]	9,347/362% / [0.37%]	53,642/159% / [2.10%]	3,346/327% / [0.13%]
王国-85	3,182,003/168% / [100%]		212	3,064,564/165% / [96.31%]	10,193/395% / [0.32%]	86,952/258% / [2.73%]	4,461/436% / [0.14%]
王国-95	3,787,688/200% / [100%]		253	3,611,670/195% / [95.35%]	10,538/408% / [0.28%]	140,285/416% / [3.70%]	9,902/969% / [0.26%]
王国-05	4,508,601/238% / [100%]		301	4,233,469/228% / [93.90%]	15,128/586% / [0.33%]	218,033/646% / [4.76%]	14,697/1,438% / [0.32%]

第13 (3) 表 3大都市の人口、面積と宗教人口 (1832-1905年)

市	人口	面積	密度	福音ルター派	福音改革派	ローマ・カトリック	ユダヤ教
D市-32	64,399/68% / 〈100%〉 [4.13%]		[2,565]	59,252/67% / 〈92.0%〉 [3.80%]	383/69% / 〈0.59%〉 [0.02%]	4,045/92% / 〈 6.3%〉 [0.26%]	712/68% / 〈1.10%〉 [4.13%]
D市-49	94,092/100% / 〈100%〉 [4.97%]		[3,747]	88,181/100% / 〈93.7%〉 [4.65%]	553/100% / 〈0.59%〉 [0.03%]	4,411/100% / 〈 4.7%〉 [0.23%]	672/100% / 〈0.71%〉 [0.04%]
D市-71	177,089/188% / 〈100%〉 [6.93%]		[7,053]	162,702/185% / 〈91.9%〉 [6.36%]	1,929/349% / 〈1.09%〉 [0.08%]	9,638/218% / 〈 5.4%〉 [0.38%]	1,276/190% / 〈0.72%〉 [0.05%]
D市-85	246,086/262% / 〈100%〉 [7.73%]	25.11	9,800	222,549/252% / 〈90.4%〉 [6.99%]	1,976/357% / 〈0.80%〉 [0.06%]	16,496/374% / 〈 6.7%〉 [0.52%]	2,353/350% / 〈0.96%〉 [0.07%]
D市-95	336,440/358% / 〈100%〉 [8.88%]	38.34	8,775	300,234/340% / 〈89.2%〉 [7.93%]	1,976/357% / 〈0.59%〉 [0.05%]	28,276/641% / 〈 8.4%〉 [0.75%]	2,547/379% / 〈0.76%〉 [0.07%]
D市-05	516,996/549% / 〈100%〉 [11.47%]	67.5	7,659	462,108/524% / 〈89.4%〉 [10.25%]	2,885/521% / 〈0.56%〉 [0.06%]	44,079/999% / 〈 8.5%〉 [0.98%]	3,514/523% / 〈0.68%〉 [0.08%]
L市-32	43,189/69% / 〈100%〉 [2.77%]		[2,632]	41,272/70% / 〈95.6%〉 [2.65%]	671/50% / 〈1.55%〉 [0.04%]	1,085/88% / 〈 2.5%〉 [0.07%]	140/44% / 〈0.32%〉 [0.01%]
L市-49	62,374/100% / 〈100%〉 [3.29%]		[3,801]	59,139/100% / 〈94.8%〉 [3.12%]	1,344/100% / 〈2.15%〉 [0.07%]	1,232/100% / 〈 2.0%〉 [0.07%]	320/100% / 〈0.51%〉 [0.02%]
L市-71	106,925/171% / 〈100%〉 [4.18%]		[6,516]	98,859/167% / 〈92.5%〉 [3.87%]	2,920/217% / 〈2.73%〉 [0.11%]	2,673/217% / 〈 2.5%〉 [0.10%]	1,739/543% / 〈1.63%〉 [0.07%]
L市-85	170,340/273% / 〈100%〉 [5.35%]	16.41	10,380	155,236/262% / 〈91.1%〉 [4.88%]	3,990/297% / 〈2.34%〉 [0.13%]	5,756/467% / 〈 3.4%〉 [0.18%]	3,664/1,145% / 〈2.15%〉 [0.12%]
L市-95	399,963/641% / 〈100%〉 [10.56%]	57.09	7,006	372,271/629% / 〈93.1%〉 [9.83%]	5,777/430% / 〈1.44%〉 [0.15%]	14,439/1,172% / 〈 3.6%〉 [0.38%]	4,872/1,523% / 〈1.22%〉 [0.163%]
L市-05	503,672/808% / 〈100%〉 [11.00%]	57.04	8,830	461,630/781% / 〈91.7%〉 [10.24%]	7,103/528% / 〈1.41%〉 [0.16%]	22,661/1,839% / 〈 4.5%〉 [0.50%]	7,676/2,399% / 〈1.52%〉 [0.17%]
C市-32	19,572/64% / 〈100%〉 [1.26%]		[1,274]	19,237/64% / 〈98.3%〉 [1.23%]	20/25% / 〈0.10%〉 [- %]	313/74% / 〈1.60%〉 [0.20%]	- / - % / 〈 - %〉 [- %]
C市-49	30,753/100% / 〈100%〉 [1.62%]		[2,002]	30,036/100% / 〈97.7%〉 [1.59%]	81/100% / 〈0.26%〉 [- %]	425/100% / 〈1.38%〉 [0.02%]	5/100% / 〈0.02%〉 [- %]
C市-71	68,229/222% / 〈100%〉 [2.67%]		[4,442]	65,565/218% / 〈96.1%〉 [2.56%]	366/452% / 〈0.54%〉 [0.01%]	1,674/394% / 〈2.45%〉 [0.07%]	95/1,900% / 〈0.14%〉 [- %]
C市-85	110,817/360% / 〈100%〉 [3.48%]	15.36	7,215	105,368/352% / 〈95.1%〉 [3.31%]	269/332% / 〈0.24%〉 [0.01%]	3,550/835% / 〈3.20%〉 [0.11%]	533/10,660% / 〈0.48%〉 [0.02%]
C市-95	161,017/524% / 〈100%〉 [4.25%]	24.3	6,626	151,602/505% / 〈94.2%〉 [4.00%]	211/260% / 〈0.13%〉 [0.01%]	6,939/1,633% / 〈4.31%〉 [0.18%]	995/19,000% / 〈0.62%〉 [0.03%]
C市-05	244,927/796% / 〈100%〉 [5.35%]	39.83	6,149	227,623/758% / 〈92.9%〉 [5.05%]	436/538% / 〈0.18%〉 [0.01%]	13,058/3,080% / 〈 5.3%〉 [0.29%]	1,280/25,600% / 〈0.52%〉 [0.03%]

基準として、1%/で示すと、王国総人口が05年に2.4倍に増加する中で、ルター派は2.3倍、改革派は5.9倍、カトリックは6.5倍に増加し、32年に少数であったユダヤ教徒は、14倍余りに激増した⁽⁸⁾。そのために、総人口に占めるルター派の比率は、依然として圧倒的であるとしても、4%余り低下した。それに対して、他の宗派の中で最大多数を占めるカトリックの比率が上昇し、05年には5%に近づいた。

比較可能な49年以後の県について、4宗派の信徒数は、85年のZ県とB県の改革派および05年のB県のユダヤ教徒を除いて、増加した。県人口計の中でルター派の比率は、いずれも圧倒的に高いけれども、その中でB県は最も低く、Z県は最も高かった。反対に、カトリックの比率はZ県で最も低く、B県で最も高かった(05年にZ県の3倍)。また、全4県でこの期間に、ルター派の比率は僅かながら、低下したのに対して、

カトリックの比率は上昇した。特にB県のカトリックの比率は、71年に低下したけれども、05年に1割を超えた。ただし、ルター派の対総人口比は、L県で僅かに上昇したのに対して、B県で低下し、Z県でも、71年を除いて、低下した。D県のそれはほぼ一定であった。カトリックの対総人口比は本領地域3県で上昇した。特にD県では95年に1%を突破した。同比はB県では低下し、そのために、85年に1%以下となり、05年にいくらか上昇したけれども、1%には達しなかった。すなわち、カトリックが最も多い県は、95年にB県からD県に替わった。改革派の比率は、Z県とB県で極めて低く、L県で最も高く（最も高い85年に0.78%で、05年の同比率はZ県の7倍以上）、第2位はD県であった。改革派信徒はD県、特にL県で増加し続けたが、その対総人口比は、それが最高となった85年のL県でも、0.2%に達しなかった。ユダヤ教徒の比率は、B県で最も低く、L県で最も高く（最も高くなった05年に0.71%で、B県の10倍以上）、第2位はD県であった。ユダヤ教徒は、L県とD県では常に改革派よりも少数であったが、比較的少数のB県で85年以後、Z県では95年以後、改革派よりも多くなった。L県のユダヤ教徒の対総人口比は、それが最高となった05年にも、0.2%に届かなかった。

第13（3）表によれば、3大都市の宗教人口は、85年と95年のC市の改革派および49年のD市のユダヤ教徒を除いて（95年のD市の改革派は同数）、増加した。各市の人口計の増加率を上回るのは、D市でカトリック（10倍）、L市でカトリック（18倍）とユダヤ教（24倍）、C市でカトリック（30倍）とユダヤ教（256倍）のみであった。ルター派信徒が市人口計に占める比率は、49年のD市と95年のL市を除いて、低下した。改革派の比率は3市で71年が最高であった。カトリックの比率は、49年の低下を除いて、上昇した。ユダヤ教徒の比率は、49年のD市、95年のL市と05年のC市を除いて、上昇した。4宗派の比率を05年の3市で比較すると、D市はルター派の比率が最も低く、カトリックが最も高かった。L市は改革派とユダヤ教徒の比率が最も高く、カトリックが最も低かった。C市はルター派の比率が最も高く、改革派とユダヤ教徒が最も低かった。L市とD市の改革派は市人口計ほどには増加しなかったけれども、王国総人口の増加率を遥かに上回っていたので、総人口に占める改革派の比率は、L市で49年の0.04%から05年の0.16%に、D市で0.02%から0.06%に、上昇した。

ところで、松尾 2022付表⁽⁹⁾（S. 102）では、職業・地位と宗教の関係が、就業者各階層の全宗派王国計を100として作成されたが、同じ原表から、就業者各階層が各宗派王国計に占める比率を計算したものが、第14表⁽¹⁰⁾である（%省略）。

公務などを含む全宗派就業者王国計（総人口）から、農工商の比率だけを取り出すと、その階層構成は労働者57%（工業42%、農業8%、商業6%）、自立者18%（家内工業経営者を含む工業11%、商業4%、農業3%）などとなる。福音派（ルター派を指す）は、就業者王国計の92%を占めたから、階層構成比は全宗派計のそれとほぼ同じであった。カトリック（ローマ・カトリック）では、労働者の比率が極めて高く、農業労働者では王国平均の比率を2%近く、工業労働者では14%近く、上回った。また、自立者の比率が低く、特に農業で低かった。さらに、人口計が就業者計の1.6倍に達しなかった（他の宗派では約2倍であった）から、カトリックには単身者が多かった。ユダヤ教では、農業3階層、家内工業と工業労働者の比率が極めて低く、反対に、商業職員、特に商業自立者の比率が、極めて高かった⁽¹¹⁾。ルター派とカトリックを除くキリスト教諸宗派を指す「諸宗派」は、農業3階層と商業労働者の比率が王国平均の比率よりも低く、それを除く6階層で高かった（工業労働者の比率はカトリックに次ぐ）。特に工業自立者と家内工業の比率は4宗派の中で最も高かった。したがって、「諸宗派」は19世紀末ザクセンの工業発展に寄与したであろう。そして、07年の「諸宗派」は、05年の人口調査では大部分（79%）が狭義の福音改革派であった。狭義の改革派王国計（15,128）の47%はL市⁽¹²⁾に、19%はD市に居住していた。上記のように19世紀末にD市、特にL市で、工業就業者が急増したが、これは、両市、特にL市における、狭義の改革派の増加

第14表 各宗派の階層構成（1907年）

階層	福音派	カトリック	諸宗派	ユダヤ教	全宗派計
農業自立者	3.36	1.12	0.67	0.01	3.18
職員	0.28	0.17	0.13	0.01	0.27
労働者	8.38	10.41	2.00	0.07	8.46
工業自立者	7.24	5.44	7.76	7.32	7.11
家内工業	3.58	1.57	4.11	0.48	3.43
職員	4.05	3.17	4.55	6.47	4.00
労働者	40.85	55.53	44.72	8.80	41.79
商業自立者	4.30	3.08	5.54	32.00	4.31
職員	2.43	1.43	2.72	13.40	2.39
労働者	6.39	5.59	4.53	7.47	6.33
就業者王国計	100	100	100	100	100
	[92.15]	[7.05]	[0.43]	[0.33]	[100]
人口計	(213)	(156)	(201)	(199)	(208)

と関連していたのであろうか。

第11節 農村の産業別就業者（1849－71年）

1849年、61年と71年については、農村の産業別人口とともに産業別就業者も公表された。既に言及したように、これらの数値は問題を含むけれども、修正値が公表されていないために、そのまま表示した。農村の産業別就業者の数値は、第12（1）表、第12（1-2）表、第12（4）表（71年の県と王国）と第12（5）表-71年の第2行に（ ）で示されている。

第1に、この22年間に王国農村の就業者計と工業就業者は増加し、農業就業者は減少した。農村就業者計に占める農業就業者の比率は、49年の50%から71年の30%に低下した。農村工業就業者の同種比率は61年に上昇し、71年に低下した。しかし、71年の同比率（46%）は49年（38%）よりも高く、71年の農村工業就業者は61年よりも多かった。その結果として、農村農業就業者に対する農村工業就業者の比率は76%→120%→153%に上昇し続けた。就業者王国計に占める農村就業者の比率は、49年の66%から71年の62%に低下し続けた（都市就業者の増加）。農業就業者計に占める農村農業就業者の比率は、ほぼ同じで、約95%であった。工業就業者計に占める農村工業就業者の比率は、61年に上昇し、71年に僅かに低下した。54%→57.5%→57.0%であったが、71年の同比率は61年よりも高かった。

対王国総人口比で見ると、農村就業者計の比率は僅かに低下し、農業就業者のそれはほぼ半減した。工業就業者のそれは61年に上昇し、71年に低下した。しかし、71年の同比率は49年よりも高かった。このように、総人口と就業者王国計に占める農村就業者の比率が、低下し続ける中で、総人口と就業者王国計に対する農村工業就業者の比率は71年には49年よりも高く、特に、61年には49年よりも上昇した。

第2に、全4県で農村の就業者計と工業就業者は増加（ただし、D県とL県の工業就業者は71年に減少）し、農業就業者は減少し続けた。農村就業者計に占める農業就業者の比率は、全4県で低下し続けた。工業就業者の同種比率は、71年のL県を除いて、本領地域3県で上昇し続けたけれども、B県では61年に上昇し、71年に低下した。就業者計に占める農村就業者の比率は、全4県で低下した。ただし、同比率は本領地域3県で約6割であったのに対して、B県では極めて高く、8割を超えていた。農業就業者に占める農村の比率は、93－97%で、殆ど変化しなかった。工業就業者に占める農村の比率は、D県46→50→48%、L県40→46→44%、Z県52→56→57%、B県83.6→84.4→84.3%、と推移した。すなわち、同比率は他の3県で

上昇の後、低下したのに対して、王国工業の、そして、王国農村工業の、中心地であるZ県のみでは、同比率は上昇し続けた。また、同比率はD県とL県で5割以下、Z県で6割以下であったのに対して、B県では極めて高く、8割を超えていた。

第3に、郡農村を見る。郡就業者計に占める農村の比率は、B県諸郡で極めて高く、80-91%で、本領地域の諸郡では、49年のD県Ⅱ郡(82%)を除いて、8割以下であった。郡工業就業者に占める農村の比率は本領地域の諸郡では29-68%であったが(71年のFre郡72%とAue郡71%を除く)、B県では極めて高く、69-92%であった。農業就業者の構成比が5割以上の郡は、49年にD県3、Z県1、B県1、それに、L県の全4、計9郡、あり、61年にD県2、L県3、計5郡、あり、71年にD県1、L県2、計3郡、あった。このように、農業就業者が5割以上の郡は49年に全15郡の60%であったが、61年に33%に、71年には全26郡の12%に低下した。工業就業者の構成比が5割以上の郡は、49年にZ県3、B県1、計4郡、61年にB県1、それに、Z県の全5、計6郡、71年にZ県8、B県2、計10郡あった。このように、工業就業者が5割以上の郡は49年に全郡の27%を、61年に40%を、71年には38%を、占めた。農村農業就業者が工業を上回る郡は、49年にD県全4、L県全4、B県1、計9郡、61年にD県3、L県3、B県1、計7郡、71年にD県4、L県4、B県1、計9郡、あった。このような郡の比率は49年の全郡の60%から61年の47%へ、71年の35%へ、低下し続けた。農村工業就業者が農業を上回る郡は、49年にB県1、Z県全5、計6郡、61年にD県1、L県1、B県1、それに、Z県全5、計8郡、71年にD県2、L県2、B県3、Z県全10、計17郡、あった。このような郡の比率は49年に全郡の40%から、61年に53%へ、71年には65%へ、上昇し続けた。

49年に農村農業人口はD県Ⅲ郡とL県Ⅳ郡の2郡で農村工業人口の約3倍、D県Ⅱ郡とL県Ⅲ郡の2郡で4倍以上、61年にD県Ⅱ郡、D県Ⅲ郡とL県Ⅲ郡の3郡で2倍以上、71年にMei郡で2倍、Gron郡で2.7倍、Bor郡とGri郡で約3倍、であった。D県とL県にある、これら諸郡の農村は農業的色彩が強かった。反対に、49年に農村工業人口はZ県Ⅰ郡と協定所領の2郡で農村農業人口の1.5倍、B県Ⅱ郡2.1倍で、61年にZ県Ⅲ郡2.2倍、協定所領2.4倍、B県Ⅱ郡2.6倍、Z県Ⅰ郡2.9倍で、71年に協定所領とLöb郡の2郡約3倍、Aue郡3.7倍、Ann郡4倍、Zit郡4.2倍、Schw郡5.7倍、Che郡6.6倍、であった。Z県とB県にある、これら諸郡の農村は工業的色彩が強かった。

農村人口計の対王国総人口比は49年と61年にB県Ⅱ郡が第1位、Z県Ⅰ郡が第2位であった。郡域が縮小した71年には、Che郡が第1位、Leip郡とLöb郡が第2位であった。農村工業人口の対総人口比は49年と61年にB県Ⅱ郡が最も高く(2.24%と2.33%)、Z県Ⅰ郡が第2位、Z県Ⅱ郡が第3位であった。71年にはChe郡が最も高く、Zit郡が第2位、Löb郡が第3位であった。71年のZit郡とLöb郡の比率合計、2.14%は61年のB県Ⅱ郡の同比率よりも低下した。

第12節 3 工業部門の就業者

第15表⁽¹⁾は3工業部門(金属、機械と繊維)の就業者(1849-1907年)を示す。[%]は対王国総人口比、〈%〉は、郡・県・王国の就業者計(第12(1)(5)表に表示)に占める比率である。また、82年と07年の統計で+記号の前が男性、後が女性である。ただし、07年については王国の産業別就業者①と3大都市と郡の就業者計は公表されている。本表に示したのは、それに加えて、県と郡の全経営の就業者②である。①は26区分、王国の就業者計は、2,199,554人で、②は23区分、1,588,102人であった。②には畑作農業、公務、無職自立者などの区分が含まれていないから、②の人数が①よりも少ないのは当然である。しかし、金属工業の就業者は王国で①97,601、②80,865であって、②が少ないけれども、機械工業①121,976、②141,216と繊維工業①305,627、②331,084では、②が多い。この不一致は職業調査と経営調査に起因するであろう。

第15表 3工業部門就業者 (1849—1907年)

郡・市	金属工業	機械工業	繊維工業	金属	機械	繊維
1849年 (1879年公表値)						
王国-49	15,205 + 186 [0.81%]	7,230 + 59 [0.38%]	118,224 + 71,691 [10.02%]	〈 1.6%〉	〈 0.8%〉	〈 20%〉
1861年 (1) (1863年公表値)						
王国-61	26,471 + 545 [1.22%] (11,615 + 175 [0.53%])	8,884 + 340 [0.41%] (4,030 + 191 [0.23%])	145,329 + 100,592 [11.05%] (85,935 + 73,538 [7.17%])	〈 2.4%〉	〈 0.8%〉	〈 22%〉
1861年 (2) (1879年公表値)						
王国-61	22,162 + 324 [1.01%]	13,364 + 323 [0.62%]	146,026 + 107,833 [11.41%]	〈 2.0%〉	〈 1.2%〉	〈 22%〉
1875年 (1879年公表値)						
王国-75	37,659 + 251 [1.37%]	16,201 + 631 [0.61%]	126,503 + 71,815 [7.18%]	〈 3%〉	〈 1.3%〉	〈 16%〉
1882—1907年						
Dip-82	379 + 11 [0.01%]	421 + 1 [0.01%]	63 + 39 [- %]	〈 1.7%〉	〈 1.9%〉	〈 0.4%〉
Dip-95	514 [0.01%]	515 [0.01%]	142 [- %]	〈 2.1%〉	〈 2.1%〉	〈 0.6%〉
Dip-07	539 + 53 [0.01%]	1,369 + 37 [0.03%]	19 + 41 [- %]	〈 1%〉	〈 5%〉	〈 0.2%〉
Dre-82	7,111 + 257 [0.24%]	4,017 + 79 [0.14%]	929 + 1,500 [0.08%]	〈 4%〉	〈 2%〉	〈 1.4%〉
Dre-95	16,837 [0.45%]	7,959 [0.21%]	3,129 [0.08%]	〈 6%〉	〈 3%〉	〈 1.1%〉
Dre-07	15,149 + 2,335 [0.38%]	24,504 + 1,507 [0.57%]	1,471 + 2,839 [0.09%]	〈 5%〉	〈 7%〉	〈 1.2%〉
Fre-82	1,047 + 398 [0.05%]	522 + 2 [0.02%]	549 + 1,322 [0.06%]	〈 3%〉	〈 1.1%〉	〈 4%〉
Fre-95	1,903 [0.06%]	748 [0.02%]	1,527 [0.04%]	〈 4%〉	〈 1.4%〉	〈 2.9%〉
Fre-07	1,135 + 457 [0.03%]	1,337 + 135 [0.03%]	570 + 1,198 [0.04%]	〈 3.0%〉	〈 2.8%〉	〈 3.3%〉
Gron-82	696 + 13 [0.02%]	396 + 6 [0.01%]	912 + 696 [0.05%]	〈 2%〉	〈 1.4%〉	〈 6%〉
Gron-95	1,105 [0.03%]	407 [0.01%]	1,422 [0.04%]	〈 3%〉	〈 1.1%〉	〈 4%〉
Gron-07	1,567 + 175 [0.04%]	776 + 37 [0.02%]	592 + 882 [0.03%]	〈 4%〉	〈 2%〉	〈 3%〉
Mei-82	1,192 + 22 [0.04%]	597 + 5 [0.02%]	341 + 506 [0.03%]	〈 3%〉	〈 1%〉	〈 2.0%〉
Mei-95	2,251 [0.06%]	886 [0.02%]	1,270 [0.03%]	〈 4.42%〉	〈 2%〉	〈 2.5%〉
Mei-07	1,665 + 1,016 [0.06%]	3,048 + 201 [0.08%]	486 + 1,068 [0.03%]	〈 4.42%〉	〈 5%〉	〈 2.6%〉
Pir-82	1,444 + 59 [0.05%]	558 + 2 [0.02%]	1,024 + 387 [0.05%]	〈 3%〉	〈 1.1%〉	〈 3%〉
Pir-95	2,284 [0.06%]	764 [0.02%]	980 [0.03%]	〈 4%〉	〈 1.2%〉	〈 2%〉
Pir-07	2,481 + 934 [0.07%]	2,676 + 40 [0.06%]	489 + 360 [0.02%]	〈 5%〉	〈 4%〉	〈 1%〉
D県-82	11,871 + 756 [0.42%]	6,541 + 95 [0.22%]	3,818 + 4,450 [0.27%]	〈 3%〉	〈 1.8%〉	〈 2.2%〉
D県-95	24,894 [0.66%]	11,279 [0.30%]	8,470 [0.23%]	〈 5%〉	〈 2.2%〉	〈 1.7%〉
D県-07	27,426 [0.60%]	35,567 [0.73%]	10,015 [0.22%]	〈 4%〉	〈 6%〉	〈 3%〉
Bor-82	667 + 46 [0.02%]	322 + 0 [0.01%]	385 + 62 [0.01%]	〈 2.35%〉	〈 1.1%〉	〈 1.5%〉
Bor-95	821 [0.02%]	347 [0.01%]	547 [0.01%]	〈 2.35%〉	〈 1.0%〉	〈 1.6%〉
Bor-07	1,083 + 144 [0.03%]	531 + 20 [0.01%]	586 + 390 [0.02%]	〈 3.2%〉	〈 1.4%〉	〈 2.6%〉
Döb-82	1,192 + 28 [0.04%]	574 + 7 [0.02%]	3,350 + 1,256 [0.15%]	〈 3%〉	〈 1.3%〉	〈 10%〉
Döb-95	2,127 [0.06%]	789 [0.02%]	3,873 [0.10%]	〈 4%〉	〈 1.4%〉	〈 7.03%〉
Döb-07	3,102 + 681 [0.08%]	1,896 + 116 [0.05%]	2,249 + 2,031 [0.09%]	〈 6%〉	〈 3%〉	〈 6.99%〉
Gri-82	828 + 7 [0.03%]	686 + 42 [0.02%]	272 + 140 [0.01%]	〈 2.3%〉	〈 2.0%〉	〈 1.1%〉
Gri-95	1,313 [0.03%]	722 [0.02%]	558 [0.01%]	〈 3%〉	〈 1.6%〉	〈 1.3%〉
Gri-07	1,028 + 87 [0.02%]	1,732 + 34 [0.04%]	453 + 524 [0.02%]	〈 2%〉	〈 3%〉	〈 1.9%〉
Leip-82	5,876 + 130 [0.20%]	4,164 + 237 [0.15%]	1,480 + 2,217 [0.12%]	〈 4%〉	〈 3.0%〉	〈 2.6%〉
Leip-95	12,382 [0.33%]	9,144 [0.24%]	10,047 [0.27%]	〈 6%〉	〈 4%〉	〈 5%〉
Leip-07	9,722 + 1,619 [0.25%]	29,801 + 2,522 [0.70%]	5,198 + 7,910 [0.29%]	〈 3%〉	〈 10%〉	〈 4%〉
Osc-82	465 + 5 [0.02%]	437 + 5 [0.01%]	163 + 196 [0.01%]	〈 1.9%〉	〈 1.8%〉	〈 1.4%〉
Osc-95	657 [0.02%]	331 [0.01%]	470 [0.01%]	〈 2.4%〉	〈 1.2%〉	〈 1.7%〉
Osc-07	480 + 56 [0.01%]	706 + 19 [0.02%]	279 + 672 [0.02%]	〈 1.9%〉	〈 2.6%〉	〈 3.4%〉
Roc-82	836 + 5 [0.03%]	518 + 16 [0.02%]	6,203 + 3,962 [0.34%]	〈 2%〉	〈 1%〉	〈 24%〉
Roc-95	1,636 [0.04%]	1,332 [0.04%]	10,162 [0.27%]	〈 3.3%〉	〈 2.7%〉	〈 21%〉
Roc-07	1,333 + 312 [0.04%]	1,978 + 94 [0.05%]	5,060 + 4,226 [0.20%]	〈 2.8%〉	〈 4%〉	〈 16%〉
L県-82	9,864 + 221 [0.33%]	6,701 + 307 [0.23%]	11,853 + 7,833 [0.65%]	〈 3%〉	〈 2%〉	〈 6.1%〉
L県-95	18,936 [0.50%]	12,665 [0.34%]	25,657 [0.68%]	〈 4%〉	〈 3%〉	〈 6.0%〉
L県-07	19,647 [0.43%]	39,449 [0.86%]	29,578 [0.65%]	〈 3%〉	〈 7%〉	〈 5%〉
Ann-82	867 + 29 [0.03%]	338 + 7 [0.01%]	7,744 + 9,805 [0.58%]	〈 2%〉	〈 0.9%〉	〈 43%〉
Ann-95	1,284 [0.03%]	438 [0.01%]	17,248 [0.46%]	〈 3%〉	〈 1.0%〉	〈 38%〉

Ann-07	1,453 + 321 [0.04%]	909 + 56 [0.02%]	8,144 + 11,680 [0.43%]	< 4% >	< 2% >	< 39% >
Aue-82	542 + 1 [0.02%]	2,452 + 470 [0.10%]	6,264 + 3,616 [0.33%]	< 1.8% >	< 10% >	< 33% >
Aue-95	914 [0.02%]	3,470 [0.09%]	12,135 [0.32%]	< 2.4% >	< 9% >	< 31% >
Aue-07	878 + 90 [0.02%]	4,191 + 1,315 [0.12%]	13,206 + 11,020 [0.53%]	< 1.7% >	< 10% >	< 43% >
Che-82	5,037 + 77 [0.17%]	8,800 + 84 [0.29%]	23,065 + 16,513 [1.31%]	< 5% >	< 8% >	< 36% >
Che-95	11,775 [0.31%]	10,876 [0.29%]	44,075 [1.17%]	< 8% >	< 7% >	< 28% >
Che-07	7,973 + 436 [0.18%]	32,026 + 1,104 [0.72%]	22,975 + 29,552 [1.15%]	< 4% >	< 15% >	< 24% >
Flö-82	577 + 13 [0.02%]	500 + 4 [0.02%]	6,358 + 3,467 [0.33%]	< 1.8% >	< 1.5% >	< 30% >
Flö-95	950 [0.03%]	616 [0.02%]	9,032 [0.24%]	< 2.5% >	< 1.6% >	< 24% >
Flö-07	1,004 + 225 [0.03%]	723 + 52 [0.02%]	5,678 + 5,977 [0.25%]	< 2.7% >	< 1.7% >	< 26% >
Gla-82	1,009 + 43 [0.03%]	409 + 35 [0.01%]	17,924 + 5,941 [0.79%]	< 2.1% >	< 0.9% >	< 47% >
Gla-95	1,394 [0.04%]	804 [0.02%]	26,801 [0.71%]	< 2.2% >	< 1.3% >	< 43% >
Gla-07	1,030 + 99 [0.02%]	1,752 + 109 [0.04%]	16,146 + 16,875 [0.72%]	< 1.6% >	< 3% >	< 46% >
Mar-82	735 + 28 [0.03%]	283 + 7 [0.01%]	2,565 + 3,518 [0.20%]	< 3% >	< 1.16% >	< 24% >
Mar-95	907 [0.02%]	306 [0.01%]	4,372 [0.12%]	< 4% >	< 1.17% >	< 17% >
Mar-07	1,171 + 329 [0.03%]	400 + 63 [0.01%]	1,607 + 2,936 [0.10%]	< 5% >	< 1.6% >	< 15% >
Oel-82	295 + 2 [0.01%]	2,127 + 229 [0.08%]	2,365 + 1,739 [0.14%]	< 1.4% >	< 11% >	< 19% >
Oel-95	538 [0.01%]	3,394 [0.09%]	4,627 [0.12%]	< 1.8% >	< 12% >	< 16% >
Oel-07	438 + 53 [0.01%]	3,874 + 554 [0.10%]	4,654 + 3,122 [0.17%]	< 1.4% >	< 13% >	< 22% >
Pla-82	1,043 + 15 [0.04%]	443 + 1 [0.01%]	10,199 + 5,790 [0.53%]	< 2.2% >	< 0.9% >	< 33% >
Pla-95	1,656 [0.02%]	769 [0.02%]	27,149 [0.72%]	< 2.4% >	< 1.1% >	< 39% >
Pla-07	1,436 + 66 [0.03%]	3,312 + 96 [0.07%]	18,588 + 24,962 [0.95%]	< 1% >	< 3% >	< 43% >
Schw-82	2,477 + 67 [0.08%]	727 + 7 [0.02%]	2,065 + 7,003 [0.30%]	< 6% >	< 2% >	< 23% >
Schw-95	5,159 [0.14%]	1,216 [0.03%]	7,725 [0.21%]	< 11% >	< 3% >	< 16.7% >
Schw-07	7,681 + 990 [0.19%]	2,705 + 46 [0.06%]	3,786 + 6,601 [0.23%]	< 14% >	< 5% >	< 17.3% >
Zwi-82	1,951 + 15 [0.07%]	1,265 + 12 [0.04%]	11,448 + 8,570 [0.66%]	< 3% >	< 1.59% >	< 25% >
Zwi-95	4,108 [0.11%]	1,678 [0.04%]	24,788 [0.66%]	< 4% >	< 1.60% >	< 24% >
Zwi-07	2,664 + 244 [0.06%]	5,597 + 297 [0.13%]	11,835 + 16,331 [0.61%]	< 2% >	< 5% >	< 22% >
Z県-82	14,533 + 290 [0.49%]	17,344 + 856 [0.60%]	89,997 + 65,962 [5.17%]	< 3.1% >	< 3.78% >	< 32% >
Z県-95	28,685 [0.76%]	23,567 [0.63%]	177,952 [4.74%]	< 5% >	< 3.82% >	< 29% >
Z県-07	28,573 [0.62%]	59,181 [1.29%]	235,675 [5.14%]	< 4% >	< 7% >	< 30% >
Bau-82	999 + 9 [0.03%]	449 + 1 [0.01%]	4,684 + 1,841 [0.22%]	< 2.2% >	< 1.0% >	< 14% >
Bau-95	1,366 [0.04%]	497 [0.01%]	6,710 [0.18%]	< 2.5% >	< 0.9% >	< 12.3% >
Bau-07	1,248 + 454 [0.04%]	2,075 + 72 [0.05%]	3,876 + 4,015 [0.17%]	< 2.6% >	< 3% >	< 12.0% >
Kam-82	457 + 8 [0.02%]	268 + 0 [0.01%]	3,215 + 1,029 [0.14%]	< 1.8% >	< 1.04% >	< 16.5% >
Kam-95	677 [0.02%]	307 [0.01%]	5,137 [0.14%]	< 2.2% >	< 1.01% >	< 17.0% >
Kam-07	399 + 30 [0.01%]	615 + 35 [0.01%]	3,813 + 4,007 [0.17%]	< 1.2% >	< 1.8% >	< 21% >
Löb-82	720 + 6 [0.02%]	462 + 7 [0.02%]	9,400 + 6,912 [0.54%]	< 1.7% >	< 1.07% >	< 37% >
Löb-95	1,209 [0.03%]	565 [0.02%]	16,825 [0.45%]	< 2.3% >	< 1.10% >	< 32.8% >
Löb-07	1,075 + 715 [0.04%]	1,981 + 70 [0.04%]	8,263 + 9,804 [0.39%]	< 3% >	< 4% >	< 32.1% >
Zit-82	950 + 5 [0.03%]	505 + 22 [0.02%]	8,832 + 8,097 [0.56%]	< 2% >	< 1.1% >	< 36% >
Zit-95	1,526 [0.04%]	749 [0.02%]	19,062 [0.51%]	< 3% >	< 1.3% >	< 34% >
Zit-07	1,162 + 136 [0.03%]	2,087 + 84 [0.05%]	9,763 + 2,275 [0.48%]	< 2% >	< 3% >	< 35% >
B県-82	3,126 + 28 [0.10%]	1,684 + 30 [0.06%]	26,131 + 17,879 [1.46%]	< 1.9% >	< 1.0% >	< 27% >
B県-95	4,778 [0.13%]	2,118 [0.06%]	47,734 [1.27%]	< 2.5% >	< 1.1% >	< 25% >
B県-07	5,219 [0.11%]	7,019 [0.15%]	55,816 [1.22%]	< 3.5% >	< 4.7% >	< 38% >
王国-82	39,394 + 1,295 [1.35%]	32,270 + 1,288 [1.11%]	131,799 + 96,124 [7.56%]	< 3.0% >	< 2.5% >	< 17% >
王国-95	73,322 + 3,971 [2.06%]	46,790 + 2,839 [1.32%]	132,010 + 127,803 [6.92%]	< 4.44% >	< 2.8% >	< 15% >
王国-07	88,373 + 9,228 [2.13%]	115,102 + 6,874 [2.66%]	144,734 + 160,893 [6.67%]	< 4.44% >	< 6% >	< 14% >
D市-82	4,814 + 190 [0.17%]	2,410 + 65 [0.08%]	459 + 1,006 [0.05%]	< 5% >	< 2% >	< 1.3% >
D市-95	9,317 [0.25%]	4,478 [0.12%]	1,906 [0.05%]	< 6% >	< 3% >	< 1.12% >
D市-07	9,891 + 1,746 [0.25%]	20,360 + 1,232 [0.47%]	846 + 1,930 [0.06%]	< 5% >	< 9% >	< 1.10% >
L市-82	2,675 + 42 [0.09%]	1,671 + 48 [0.05%]	462 + 505 [0.03%]	< 4% >	< 2% >	< 1% >
L市-95	10,526 [0.28%]	7,858 [0.21%]	7,629 [0.20%]	< 6% >	< 4.5% >	< 4.3% >
L市-07	7,542 + 1,344 [0.19%]	23,631 + 1,192 [0.54%]	5,007 + 7,503 [0.27%]	< 4% >	< 10% >	< 5% >
C市-82	2,893 + 62 [0.10%]	6,164 + 65 [0.21%]	4,107 + 5,385 [0.31%]	< 7% >	< 14% >	< 21% >
C市-95	7,609 [0.20%]	7,084 [0.19%]	13,993 [0.37%]	< 10.3% >	< 9.6% >	< 19% >
C市-07	5,883 + 308 [0.14%]	27,744 + 948 [0.63%]	7,318 + 14,617 [0.48%]	< 5% >	< 22% >	< 17% >

したがって、07年の県と郡の数値と95年までのそれとの厳密な比較は困難である。しかし、県と郡の数値は他にないので、以下に紹介する。

第1に、王国で繊維工業の構成比は49年から61年まで上昇し、82年から下落した。金属と機械のそれは緩やかに上昇し、07年には機械は、金属を上回わり、繊維の4割を占めるようになった。第2に、82年以後の県では、繊維工業の構成比がZ県で約3割を、B県で25-38%を、占めたけれども、L県、特にD県では極めて低かった。全4県で金属と機械のそれはいずれも高くないが、07年には機械の比率は金属を超えた（Z県では82年にもそうであった）。第3に、82年以後の郡を見ると、Roc郡、B県の3郡（Bau郡を除く）とZ県の全10郡、計14郡では、繊維工業の構成比は、少なくとも1度は2割を超えたが、その中のRoc、Che、Mar、ZwiとLöb、計5郡では、下落し続け、PlaとKamの2郡では上昇し続けた。その他に、Ann、Flö、Gla、SchwとZit、計5郡では、82年の比率が07年よりも高かった。したがって、計10郡では繊維工業の07年の比率は82年よりも低かった。同比率が最も高い郡は、82年のGla郡（47%）であった。機械工業の構成比が就業者の1割を超える郡は、Leip、Aue、CheとOel、計4郡であり、Leip郡とChe郡では機械工業就業者が急増し、07年に初めて1割を超えた。07年のChe郡の構成比、15%は最高であり、Leip郡は、機械の比率が繊維を超える、唯一の郡であった。金属の比率は95年以後にSchw郡だけが1割を超えていた（繊維の比率の約3倍）。繊維工業の対王国総人口比の第1位はChe郡（1%以上はこの郡のみ）で、第2位は82年にGla郡、95年からPla郡であった。機械工業の対総人口比の第1位はChe郡で、第2位はLeip郡であった。金属工業の対総人口比の第1位はDre郡で、第2位は95年までChe郡、07年にSchw郡であった。

男女別で見ると、金属と機械工業の就業者は49年以後の王国で、82年の4県で、そして、82年と07年の全郡で、圧倒的に男性であった。繊維工業の就業者は49年から75年までの王国で女性が57-86%を占めていたが、女性の比率は82年の73%から95年の97%へ上昇し、07年には111%と男性を超えた。82年と07年の郡では、女性は、Pir、Bor、Döb、Roc、AueとOel、計6郡で両年ともに男性の100%以下であったけれども、Dip、Gron、Gri、Che、Flö、Gla、Pla、ZwiとB県全4、計12郡では82年の100%以下が07年には100%以上となり（これら12郡が王国の数値を押し上げた）、Dre、Fre、Mei、Leip、Osc、Ann、MarとSchw、計8郡では両年ともに男性よりも多かった。

3大都市では、82年と07年の金属と機械工業の就業者は、圧倒的に男性であった。繊維工業では女性は両年ともに男性よりも多かった。女性の対男性比は3市ともに上昇したが、特に、繊維工業就業者の対王国総人口比が高いC市で、女性の対男性比は1.3倍から2倍に上昇した。

第10節注

(注1) Berufszählung 1907(3), S. 249. Vgl. Berufszählung 1907(1), S. 10; Stat. Jahrbuch 1909, S. 15. なお、本表の49-75年の数値は、Berufszählung 1882(1) (S. 46) などの数値といくらか異なる。

(注2) 49年と61年はBerufszählung 1861(1), S. 74-75から計算。県-49の工業人口はBerufszählung 1849(1), S. 164-175の数値といくらか異なる。71年はBerufszählung 1871(2), S. 10-12から計算。82年はBerufszählung 1882, S. 174-192から計算。Vgl. Berufszählung 1895(1), S. 38; Berufszählung 1907(1), S. 10; Berufszählung 1907(3), S. 249, 252. 95年はBerufszählung 1895(1), S. 38-39から計算。Vgl. Berufszählung 1907(3), S. 249, 252. 07年はStat. Jahrbuch 1910, S. 14-15. Vgl. Berufszählung 1907(1), S. 10; Berufszählung 1907(3), S. 249, 252; Berufszählung 1907(5), S. 573. なお、①本表の王国の49年と61年の数値は第12(3)表の数値といくらか異なる。②82-07年の王国の数値は、第12(3)表の数値と同じであるから、本表には表示しない。

(注3) D県-49に誤りがあったので、次のように修正する。

第1行。	103,132 [5.44%]	90,739 [4.79%]	259,915 [13.72%]	<40%>	<35%>	<100%>
第2行。	100,256 [5.29%]	43,557 [2.30%]	168,333 [8.89%]	60% / 97%	26% / 48%	100% / 65% /

(注4) 71年（1875年公表値）はBerufszählung 1871(2), S. 1-111から計算。82年はBerufszählung 1882, S. 20-21, 24, 26, 46, 174-192から計算。Vgl. Berufszählung 1907(1), S. 10（王国）; Berufszählung 1907(3), 252（王国）。95年はBerufszählung 1895(1), S. 38-41, 98-117から計算。Vgl. Berufszählung 1907(1), S. 10（王国）; Berufszählung 1907(3), 252（王国）。王国-82と王国-95

の計はBerufszählung 1895(1), S. 40にあり, 王国-82と王国-95および県-95の農業と工業はBerufszählung 1895(1), S. 38-39, 95; Berufszählung 1907(3), S. 249にある。07年はBerufszählung 1907(4), S. 260-261; Berufszählung 1907(5), S. 498-500, 560-573から計算。これは第12(3)表の数値といくらも異なる。なお, 71年以後の王国と4県の数値は, 第12(4)表と同じであり, 本表には表示しない。

(注5) Juckenburg 1913はL市の大工業の発展を歴史的に, また, 工業部門別に叙述し, 巻末(S. 152-183)の5表は1875年から1907年までの職業統計をL市, ザクセン王国とドイツ帝国について取りまとめている。L市について, 1792-1875年の人口と1832-75年の宗教人口がHasse 1878, S. 119, 144に, また, 1875年のL市, D市, ザクセンとドイツ帝国など(C市を含まず)の産業別男女就業者および産業別経営数, 規模と就業者がa. a. O., S. 154-158, 277-294に, 表示されている。

(注6) 第13(2)表と第13(3)表の人口と宗教人口のうち, 32年(王国と3大都市。なお, 県は旧制度, 本領地域4県とラウジツ, の数値であるから, 表示しない)はVolkszählung 1832, S. 2-3, 10-11, 30-31, 42-42から, 49年(シュトルベン管区の数値はB県から差し引き, D県に加えた)はVolkszählung 1849, S. 5, 63, 105, 170-175から, 71年はVolkszählung 1871, S. 51, 70-73, 76-77から, 85年はVolkszählung 1885, S. 81, 125, 167, 169から, 95年はVolkszählung 1895, S. 14, 35, 56, 75から, 05年はVolkszählung 1905, S. 273から, 計算。1832年から1900年までの王国の宗教人口は, Volkszählung 1900(1), S. 5に, 1871年から1910年までの王国の宗教人口は, Volkszählungen 1832-1910, S. 4, 9-10にあり, 1815年から1900年までの全都市の人口は, Wächter 1901, S. 188-191にある。面積単位は平方km(県と王国は四捨五入値)。85年はStat. Jahrbuch 1887, S. 117から, 95年はStat. Jahrbuch 1898, S. 17から, 05年はStat. Jahrbuch 1906, S. 4から。密度は1平方km当たり人口密度で, 面積と人口から計算した。[]の数値は, 82年の市域がそれ以前にも同じであったと想定して計算した人口密度である。なお, ①都市領域の拡大はD市で1866年に, C市で1880年に, 始まった。しかし, 大規模な拡大はD市で92年から, C市で94年から, であった。1889年開始のL市の拡大は, 最初から大規模であった。Wächter 1901, S. 203. Vgl. HOS, S. 19, 212, 282. したがって, 85年の市域は古くからの市域とはほぼ同じであろう。②Stat. Jahrbuch 1902(S. 69)には, 王国の95年の改革派の数は不正確で, 小さすぎる, と記されている。したがって, 同年の4県と3市の数値もそうであろう。③05年の県人口計と王国総人口について, vgl. 松尾 2022, S. 241。

(注7) 49年の(産業別)人口計はVolkszählung 1849, S. 4, 62, 104; Wächter 1901, S. 188, 190. 他の数値はBerufszählung 1849(1), S. 164-175, 200-205から計算(市の数値ではなく, 市を含む管区の都市の数値。ケムニツ管区には1市のみがあったけれども, ドレスデン管区には他に1小都市が, ライプツィヒ管区には他に3小都市が, 含まれていた。Volkszählung 1849, S. 4, 63, 104. 同年にドレスデン管区では都市人口計の98%がD市の, ライプツィヒ管区では92%がL市の, 人口であった。したがって, (産業別)人口計を除いて, D市とL市のみの数値は本表よりもいくらか小さくなり, 両市の71年以後の対49年比は一層大きくなる)。さらに, Berufszählung 1871(2), S. 29, 55, 81; Berufszählung 1882, S. 174-192; Berufszählung 1895(1), S. 38-39; Berufszählung 1907(1), S. 10-11, から計算。なお, ①本表の95年の3市の(産業別)人口計は, 第13(2)表の人口計と異なる。②07年に工業就業者はC市で就業者計の65%, L市で53%, D市で48%を, 商業就業者はC市で就業者計の18%, D市で23%, L市で26%を, 公務などの就業者はL市で6.4%, C市6.6%, D市11.2%を, 占めていた。Vgl. Berufszählung 1907(1), S. 10-11. 工業都市としてのC市, 大都市の伝統を持つL市と首都としてのD市, の性格が明白であった。③Studnitz 1887(S. 36-40)は, 3大都市の宗派別就業者を検討しているけれども, 福音派にルター派, 改革派などを含ませているので, 本稿の参考資料とはならない。

(注8) カトリック教徒の増加は主としてドイツ帝国内外のカトリック地域からの流入に基づき, ユダヤ教徒の増加は主として東欧諸国からの流入に基づいていた, と, ハッセは, 人口が激増し始めた1875年のL市について, 記している。Hasse 1878, S. 146-147, 150. なお, L市の1875年の宗教人口のうち, 同市生まれの人の比率は改革派が最も高く, ルター派がそれに次ぎ, カトリックは低く, ユダヤ教徒は最も低かった。Hasse 1878, S. 145. 市外, 特に外国から同市への移住者の比率は改革派で最も低く, カトリックで高く, ユダヤ教徒で最も高かった, と言えよう。また, 19世紀末について, カトリックの増加は南からの, 改革派の増加は北からの, 流入に基づく, との指摘もある。Volkszählung 1900(1), S. 5-6。

(注9) 付表4行目に誤りがあったので, 次のように修正する。

工業自立者 | 93.8 5.4 0.47 0.34 | 100 [7.1%] |

(注10) 就業者王国計は2,199,554で, 総人口は4,585,500であった。

(注11) ハッセによれば, 1875年のL市で, カトリックには世代別・性別で15-65歳の独身男性の比率が高く, また, 産業別では工業の比率が高く(これは労働者の比率と解しうる), 商業が低かった。それに対して, ユダヤ教徒では世代別では15歳以下の子供の比率が高く, 階層別では自立者の比率が高く(ユダヤ教徒はL市人口の2%を占めるに過ぎないが, 特に商業男性自立者はこの階層の5.7%に達した), 労働者の比率が低かった。Hasse 1878, S. 148, 150-151. カトリックには成年男子の単身移住者が多く, ユダヤ教徒には挙家移住者が多かったわけである。また, ユダヤ教徒に関するハッセの指摘は, 第14表の王国の数値と重なる(ただし, 同表では, ユダヤ教徒の商業労働者の比率は王国平均よりも高かった)。

(注12) 人口激増が始まった時期のL市の改革派信徒には, ハッセによれば, 富裕な家族が比較的多かった。また, 75年に同派は市人口の2.6%を占めたに過ぎないけれども, 商業男性自立者ではこの階層の3.1%を, 特に出版業では7.3%を, 占めた。Hasse 1878, S. 145-146. Vgl. a. a. O., S. 287, 293, 348. 出版業者の中では, 1828年にL市で創業したレクラム家(レクラム文庫の出版社), 1872年にライン河畔コーブレンツから出版業の中心地, L市に移転してきたベデカー家(旅行案内書で著名)がそうであろう。

第12節注

(注1) 1849年(1879年公表値)はBerufszählung 1875, S. 178から, 1861年(1)(1863年公表値)はBerufszählung 1861, S. 50-53, 56-57から, 1861年(2)(1879年公表値)はBerufszählung 1875, S. 178から, 1875年(1879年公表値)はBerufszählung 1875, S. 179から計算. 1882年はBerufszählung 1882, S. 177-181, 192から計算. Vgl. Berufszählung 1907(3), S. 252, 254 (王国). 1895年の王国はBerufszählung 1907(3), S. 252, 254から, 他はBerufszählung 1895(1), S. 38-39, 98-117から, 計算(3大都市, 郡と県の就業者計および県の部門別就業者計, さらに, 男女別数値は公表されていない). 1907年の王国はBerufszählung 1907(3), S. 252, 254から, 3大都市と郡の就業者計はBerufszählung 1907(5), S. 498-499, 560-573から, 3大都市, 郡と県のその他の数値はBerufszählung 1907(5), S. 38-49, 54-64から, 計算.

追加文献目録

Berufszählung 1875 = Berufsstatistik 1849-1875を改める.

Berufszählung 1907(5) = Geographie 1910を改める.

Hasse 1878 = Ernst Hasse (Hrsg.), *Die Stadt Leipzig und ihre Umgebung*, Leipzig (*Verwaltungsbericht der Stadt Leipzig für die Jahre 1866-1877*, H. 3).

Juckenburg 1913 = Karl Juckenburg, *Das Aufkommen der Großindustrie in Leipzig*, Leipzig (*Volkswirtschaftliche und wirtschaftsgeschichtliche Abhandlungen*, N. F., H. 2).

Studnitz 1887 = Arthur von Studnitz, "Religion und Beruf" [Eine Untersuchung aufgrund der Berufszählung 1882], in: *Stat. Zeitschrift*, Bd. 33.

Vereins-Mittheilungen = *Mittheilungen des Statistischen Vereins für das Königreich Sachsen*.

Volkszählung 1832 = "Bevölkerung des Königreichs Sachsen am 3. 7. 1832", in: *Vereins-Mittheilungen*, Bd. 4, 1833.

Volkszählung 1846 = [Bevölkerung vom 3. 12. 1846], in: *Vereins-Mittheilungen*, Bd. 7, 1848.

Volkszählung 1871 = "Bericht über die Bevölkerung im Königreiche Sachsen am 1. 12. 1871", in: *Stat. Zeitschrift*, Bd. 18, 1873.

Volkszählungen 1832-1910 = "Die Volkszählungs-Ergebnisse von 1832 bis 1910", in: *Stat. Zeitschrift*, Bd. 61, 1915.

Wächter 1901 = Georg Wächter, "Die sächsischen Städte im 19. Jahrhundert", in: *Stat. Zeitschrift*, Bd. 47.